

令和8(2026)年度 福祉心理学科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

教養/専門	講義名称	単位数	代表教員名	実務経験
教養	初年次教育	1	武田 文男	政府や自治体の人事担当責任者としての業務を経験 各組織における採用職員の新任研修業務の経験、建学の精神、教育の理念、大学における学び等本学新入学生への初年次教育の授業に活かす
教養	文章表現Ⅰ	2	安田 信二	福島県内の新聞社に38年間、勤務して、編集や広告などの業務に携わった。 新聞社の編集や広告の取材、原稿の執筆、校閲などの各業務に携わった経験を生かして、文章表現の実例を具体的にに取り上げた授業を展開する。
教養	文章表現Ⅱ	2	安田 信二	福島県内の新聞社に38年間、勤務して、編集や広告などの業務に携わった。 新聞社の編集や広告の取材、原稿の執筆、校閲などの各業務に携わった経験を生かして、文章表現の実例を具体的にに取り上げた授業を展開する。
教養	会話演習	2	安田 いつ美	テレビ局アナウンサー ラジオパーソナリティ テレビやラジオの放送や司会で身に付けた人前で話す際のポイントや、対談、インタビューを通して得た対話スキルを指導する。
教養	手話	2	根本 和徳	◎根本 和徳非常勤講師 福島県聴覚障害者協会専属講師として、小中学校の手話出前講座講師や高等学校の手話授業、手話劇の講師を担っている。二本松市手話奉仕員養成講座講師。 古閑 綾子アシスタント 福島市登録派遣手話通訳者及び福島県意思疎通支援者として手話通訳業務を担っている。伊達市手話奉仕員養成講座講師。 ・カリキュラムに沿って段階的に手話の定着化を図る。 ・当事者と関わることで、障害理解やコミュニケーション力の向上を図る。
教養	ICTリテラシー	2	鈴木 忠雄	民間研究所におけるソフトウェア開発 民間研究所でソフトウェア開発を行った経験をもとに、ビジネスで用いられるICTツールの機能やソフトウェアの特性についての解説を展開する。
教養	データサイエンス	2	鈴木 忠雄	民間研究所におけるソフトウェア開発 民間研究所でソフトウェア開発を行った経験をもとに、データの特性やデータ分析をする際の心構えなどを含めた解説を展開する。
教養	生活教養Ⅰ	2	渡辺 雅子	学校法人福島学院 事務局総務人事課研修主任・研修主事を兼任(5年間)。 本学教職員へのビジネスマナー指導のスキルを生かし、マナー教育を実施します。
教養	生活教養Ⅱ	2	鈴木 修子	研修講師として企業の人材育成に従事している。ビジネスマナー、コミュニケーション、新入社員、管理職、階層別研修に対応し「人が成長する組織づくり」を支援。 新入社員研修に近い内容を提供し、ビジネスマンとして必要なマナー、コミュニケーション、人間関係、ビジネスの思考を学んでいただく。社会で活躍できる人材への成長を促す。
教養	地域ボランティア活動(地域振興活動)	1	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中でボランティアセンター運営及び市町村社会福祉協議会における災害ボランティアセンター運営支援の実務経験がある。 実務経験を生かして学生のボランティア活動のコーディネート、活動上の留意点等の指導を行う。
教養	音楽演習	2	佐藤 恵一	高等学校の音楽の教員としてギターの授業を行ってきた。 実務経験により、「音楽演習」の概要や目的を達成させることができると考える。
教養	心理学概論	2	佐藤 則行	担当教員は医療領域や教育領域において、心理学を理論的背景とした臨床経験を有している。 カウンセリング等の心理臨床を支える理論として基礎心理学が重要である。心理学概論で学ぶ基礎心理学の知識から、臨床場面とのつながりがイメージできる授業を行う。
教養	食生活と健康	2	佐藤 友美	病院において管理栄養士として勤務し、患者の年齢や疾患、栄養状態に応じた栄養管理、および食事指導に携わってきた。 病院栄養士としての実務経験を基に、疾病や生活背景、心の状態が食行動に及ぼす影響を取り上げ、日常生活に活かせる食生活と栄養を考察する。
教養	英会話ⅡA	1	月輪 まり子	・英国の教育機関において3年間教員を勤める。 ・企業、民間、個人向けに英会話を15年以上教える。 英語で授業を行った経験と幅広い年齢層・英語レベルに指導してきた経験を活かし、実践的な英語と実体験に基づくコミュニケーションのコツを伝える。
教養	英会話ⅡB	1	月輪 まり子	・英国の教育機関において3年間教員を勤める。 ・企業、民間、個人向けに英会話を15年以上教える。 英語で授業を行った経験と幅広い年齢層・英語レベルに指導してきた経験を活かし、実践的な英語と実体験に基づくコミュニケーションのコツを伝える。
教養	時事講座	2	安田 信二	福島県内の新聞社に勤務して、編集、広告、事業などの各分野の業務に従事した。 福島県内の新聞社に38年間、勤務して、政治、行政、経済、社会、スポーツ、文化などに関する報道に携わった。また、広告や事業などの業務も担当した。それらの実例を具体的に取り上げて、授業を展開する。
教養	国際理解論	2	安田 信二	福島県内の新聞社に勤務して、編集、広告、事業などの各分野の業務に従事した。 福島県内の新聞社に38年間、勤務して、政治、行政、経済、社会、スポーツ、文化などに関する報道に携わった。また、アメリカ合衆国、ドイツ、スイス、ロシア、中国、シンガポールにおいて取材した経験がある。それらの実例を具体的に取り上げて、授業を展開する。
教養	体育実技	1	宮崎 利勝	中学校、高等学校保健体育科教員 高等学校での体育実技内容を踏まえた実技授業の展開
教養	体育実技	2	松山 善弘	「ダンスムーブメント」を日本女子体育大学で指導 「ダンスエクササイズ」を日本大学文理学部で指導 いずれも当該授業科目「ダンスエクササイズ」と内容が一致する。
専門	福祉心理学Ⅰ	2	菅藤 健一	少年鑑別所及び刑務所での勤務経験、学生支援室での障害学生への修学支援 矯正現場、教育現場での経験が福祉心理学の学習に役立つ
専門	福祉心理学Ⅱ	2	安部 郁子	福島県の心理職として、児童相談所(児童福祉)、女性のための相談支援センター(女性福祉)、総合療育センター(障害児福祉)で心理臨床を行ってきた。 実務経験を基に具体的な事例に基づき講義する。
専門	人体の構造と機能および疾病	2	八木沼 洋行	医学部医学科教員として人体解剖学の講義と実習を指導(35年) 看護学校等の非常勤講師として解剖生理学の講義と実習を担当(25年) 非常勤検診医師(10年)および認定産業医(1年)として活動 以上のような経験を元に授業内容を構成する。 本科目の「人体の構造と機能」に相当する解剖生理学は、講師が長年専門領域として教育研究してきた分野であるので、その経験を活かして講義する。 さらに検診医および産業医としての実地経験に即して「疾病」について診断、治療、予防に関する講義を行う。
専門	精神疾患とその治療	2	本間 捻宏	《本間捻宏》 現所属の精神科病院をはじめ、これまで複数の医療機関で一般精神科、児童思春期精神科ならび司法精神医学における診療に携わってきた。 兼任・併任としての所属である行政機関、大学等では、精神保健福祉行政実務や研究とその指導、および疫学コンサルテーションに従事してきた。 《大成児》 現所属の精神科病院をはじめ、これまで複数の医療機関で一般精神科、児童思春期精神科ならび司法精神医学における診療に携わってきた。また、児童福祉関連の外部行政機関との連携や職員研修等にも応じてきた実績がある。 これらの臨床実務により殆ど全ての領域の精神疾患の治療・支援に携わった経験から、幅広い疾患に関して総論・各論のいずれも教示が可能である。
専門	臨床心理学概論	2	菅藤 健一	少年鑑別所及び刑務所での勤務経験、学生支援室での障害学生への修学支援 矯正現場、教育現場での経験が臨床心理学の学習に役立つ
専門	心理学研究法	2	阿部 恒之	化粧品メーカーの研究者として20年間に亘り、心理学的研究を行い、その成果を商品開発に活かしてきた。 現在の本務地におけるアカデミアの立場でも、心理学の実験・調査経験を積極的に積んでいるが、企業における実務経験は、「心理学研究法」の教授内容の現実味を促進すると思われる。
専門	教育・学校心理学	2	佐藤 則行	担当教員は教育領域でスクールカウンセラー、巡回相談などの実務経験を有している。 授業においては、子どもの発達や学びに関する教育心理学の分野や、学校で起こる問題への心理的介入に関する学校心理学の分野について、獲得された知識が実際の学校現場とのつながりをイメージできるように授業を行う。
専門	産業・組織心理学	2	小島 有里子	担当教員は、公認心理師・臨床心理士として、医療機関でのリワーク・心理教育プログラムの実施経験に加え、教育・福祉分野での幅広い心理支援経験を有しています。 担当教員は、リワークや心理教育プログラムに加え、教育・福祉分野での心理支援経験をともに、職場や社会的文脈での心理支援の理論と実証を講義・討議で提供します。
専門	心理的アセスメントⅠ	1	千葉 浩太郎	心理職(公認心理師・臨床心理士)として医療機関(精神科病院・総合病院)で心理支援に従事した経験がある。 面接法や心理検査(質問紙法、作業検査法、認知機能検査など)の理解が深まるよう、医療機関で心理支援に従事していた経験を活かして授業を行う。
専門	心理的アセスメントⅡ	1	千葉 浩太郎	心理職(公認心理師・臨床心理士)として医療機関(精神科病院・総合病院)で心理支援に従事した経験がある。 心理検査(発達検査、知能検査、投映法)の理解が深まるよう、医療機関で心理支援に従事していた経験を活かして授業を行う。
専門	心理学的支援法	2	小島 有里子	担当教員は、公認心理師・臨床心理士として、医療・教育・福祉分野において幅広い心理支援の実務経験を有しています。具体的には、病院や福祉施設での心理評価・面接・カウンセリング、学校現場での相談対応や心理教育プログラムの実施など、さまざまな臨床場面での支援経験を積んでいます。 本科目では、臨床現場で心理支援を行う上で必要な知見や技法を学びます。担当教員は自身の実務経験をともに、理論と実践を結びつけた学習を提供します。これにより、学生は臨床現場で直面する状況や支援の進め方を、実務に即した形で理解することができま

専門	心理演習	1	小島 有里子	・少年鑑別所及び刑務所での勤務経験、学生支援室での障害学生への修学支援 ・公認心理師・臨床心理士として、医療・教育・福祉分野において心理支援に従事してきました。病院や福祉施設での心理評価・面接、学校現場での相談対応や心理教育の実践経験を有します。 ・矯正現場、教育現場での経験が福祉心理学の学修に役に立つ ・実務経験を踏まえ、心面接の基本的態度、アセスメントの視点、倫理的配慮等について具体的に指導します。特に、模擬面接や事例検討を通して、臨床現場で求められる実践力の基礎を養い、理論と実践を関連づけた学修を支援します。
専門	心理学実験	2	佐藤 則行	担当教員は心理職として医療機関等で心理支援に従事した実務経験を有しています。 知覚・認知等の心理学に関する実験の結果が、実際の臨床場面でのように活用されているのかについて、医療機関等での心理支援に従事した経験を踏まえて授業を行います。
専門	社会・集団・家族心理学	2	安部 郁子	福島県の心理職及びスクールカウンセラーとして家族臨床に関わってきた。また、東日本大震災の原発事故によって地域社会から分断され、再度故郷に戻るようになった家族の支援を行ってきた。日本家族療法学会の会員である。 実務経験を通して具体的な事例に基づき講義する。
専門	障害者・障害児心理学	2	千葉 浩太郎	心理職（公認心理師・臨床心理士）として医療機関（精神科病院・総合病院）で心理支援に従事した経験がある。 障害者・障害児の理解が深まるよう、医療機関で心理支援に従事した経験を活かして授業を行う。
専門	司法・犯罪心理学	2	菅藤 健一	少年鑑別所及び刑務所での勤務経験、学生支援室での障害学生への修学支援 矯正現場、教育現場での経験が司法・犯罪心理学の学修に役に立つ
専門	公認心理師の職責	2	安部 郁子	福島県の心理職として、精神科単体病院（医療）、児童相談所・女性のための相談支援センター・総合療育センター（福祉）で心理臨床を行ってきた。また、女子刑務所でグループワークを行い（司法・矯正）、企業から依頼され従業員のメンタルヘルスに対応してきた（産業）。福島県公認心理師会の会長を務めている。 実務経験を通して具体的な事例に基づき講義する。
専門	学習・言語心理学	2	千葉 浩太郎	心理職（公認心理師・臨床心理士）として医療機関（精神科病院・総合病院）で心理支援に従事していた経験がある。 心理職として学習心理学・言語心理学の理論に基づく心理支援に従事した経験を踏まえて、理論と実践が結びつくように講義を行う
専門	健康・医療心理学	2	千葉 浩太郎	心理職（公認心理師・臨床心理士）として医療機関（精神科病院・総合病院）で心理支援に従事していた経験がある。 健康心理学および医療心理学の理解が深まるよう、医療機関で心理支援に従事していた経験を活かして授業を行う。
専門	心理実習	2	千葉 浩太郎	担当教員は実習施設となっている領域に関しての実務経験を有している。 心理支援に携わってきた教員の実務経験を基に現場での心理支援や多職種連携の実践を踏まえ、心理職に求められる基本的態度、倫理的配慮、チームアプローチの在り方について具体的な事例を用いて学びを深める。
専門	貧困に対する支援	2	小川 武	地方自治体（福島県）で保健福祉分野の組織・人員体制、予算の管理運営の経験がある。 生活保護制度や生活困窮者自立支援制度を考慮に入れた組織・人員、予算の管理運営の経験を踏まえて貧困対策の制度理解を助ける講義を行う。
専門	権利擁護を支える法制度	2	佐藤 昭洋	医療機関内の地域包括支援センターと通所リハビリテーション、児童館・学童保育、社会福祉協議会において、相談援助および地域支援に関わるソーシャルワーク実践に従事した経験を有する。 実務経験を踏まえ、権利擁護を支える法制度の意義と課題を実践的に理解し、ソーシャルワーカーとして制度を活用する視点を身につけることを目指す。
専門	地域福祉と包括的支援体制	4	日下 輝美	社会福祉法人柴田町社会福祉協議会において福祉活動専門員として地域福祉に従事しました。 当該授業科目は、地域福祉の理論と実践、事例研究という授業構成の観点から社会福祉協議会での実務経験の内容と合致します。
専門	高齢者福祉	2	遠藤 寿海	介護福祉士資格を取得しています。 特別養護老人ホームでの勤務経験があります。
専門	障害者福祉	2	岡崎 立郎	介護保険制度への移行等の歴史的・制度的変化に着目しながら、現代的な支援の在り方について学べるよう講義します。 平成8年より知的障がい者福祉施設で勤務し、現在に至る。 平成17年から知的障がい者施設の管理者として勤務。平成29年に社会福祉士を取得。令和7年度貴校にて「障害者福祉」の授業を担当させていただきます。
専門	児童・家庭福祉	2	佐藤 昭洋	医療機関内の地域包括支援センターと通所リハビリテーション、児童館・学童保育、社会福祉協議会において、相談援助および地域支援に関わるソーシャルワーク実践に従事した経験を有する。 実務経験を踏まえ、児童福祉に関する制度や子ども家庭支援の実践を具体的な事例と結びつけながら講義を行うことで、学生が制度と実践の関係を理解し、子どもや家庭を多面的に捉える視点を身につけることを目指す。
専門	保健医療と福祉	2	伊藤 久美子	1999.4～2006.3 急性期病棟の医療ソーシャルワーカーとして勤務 2006.4～2011.5 地域包括支援センターの社会福祉士として勤務 2011.6～ 急性期・回復期の医療ソーシャルワーカーとして現在に至る 急性期・回復期・生活期と保健医療・福祉分野のそれぞれの時期のソーシャルワーカーとして勤務した経験がある。 特に、多職種連携やチームアプローチについては、その実務を活かし事例を元に考える機会を作り、学んでいけるようにしたい。
専門	刑事司法と福祉	2	菅藤 健一	少年鑑別所及び刑務所での勤務経験、学生支援室での障害学生への修学支援 矯正現場、教育現場での経験が刑事司法と福祉の学修に役に立つ
専門	ソーシャルワークの基盤と専門職	2	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で経験した生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験あり。 実務を生かし、社会福祉士・精神保健福祉士の役割やソーシャルワークの概念・形成過程、倫理的ジレンマ等の事例を挙げることににより、学生が実践にもとづく理論を学ぶことになり、授業内容をより理解できるようになる。
専門	相談援助の基盤と専門職	2	大橋 雅啓	民間児童養護施設4年、自治体の精神保健福祉行政の実務（児童相談所、保健所、総合病院精神科、精神保健福祉センター等）25 精神障害者のニーズや現在の精神保健福祉サービスに精通しており、精神保健福祉士としての求められ専門的知識・技術・社会的な役割について指導が可能である。
専門	ソーシャルワークの理論と方法	4	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験がある。 実務経験を生かし、ソーシャルワークの過程・アプローチや面接技術、コミュニティワーク等の事例を挙げることににより、学生が実践にもとづく理論と方法を学ぶことになり、授業内容をより理解できるようになる。
専門	相談援助の理論と方法Ⅰ	2	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験を生かし、総合的かつ包括的な支援におけるソーシャルワークや援助関係の形成の事例を挙げることににより、学生が実践にもとづく理論と方法を学ぶことになり、授業内容をより理解できるようになる。
専門	相談援助の理論と方法Ⅱ	2	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験を生かし、ソーシャルワークにおける社会資源の活用・調整・開発、カンファレンス、プレゼンテーション、ファンリテーションの実例等を挙げることににより、学生が実践にもとづく理論と方法を学ぶことになり、授業内容をより理解できるようになる。
専門	ソーシャルワーク演習	1	佐藤 昭洋	社会福祉士、精神保健福祉士としての実務経験がある。 実務経験を踏まえ、アセスメント、援助計画の立案、面接技術、チームアプローチ等の相談援助技術について、演習を通して理解を深める。
専門	ソーシャルワーク演習	1	志村 敬親	社会福祉士、精神保健福祉士としての実務経験がある。 実務経験を踏まえ、アセスメント、援助計画の立案、面接技術、チームアプローチ等の相談援助技術について、演習を通して理解を深める。
専門	ソーシャルワーク演習	1	大橋 雅啓	社会福祉士、精神保健福祉士としての実務経験がある。 実務経験を踏まえ、アセスメント、援助計画の立案、面接技術、チームアプローチ等の相談援助技術について、演習を通して理解を深める。
専門	相談援助演習Ⅰ	1	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験を生かし、社会福祉士に求められる基本的な援助技術や総合的かつ包括的な援助方法等の事例を挙げることににより、学生が実践にもとづく理論と実際の相談援助への応用を学ぶことになり、授業内容をより理解できるようになる。
専門	相談援助演習Ⅰ	1	佐藤 昭洋	医療機関内の地域包括支援センターと通所リハビリテーション、児童館・学童保育、社会福祉協議会において、相談援助および地域支援に関わるソーシャルワーク実践に従事した経験を有する。 社会福祉士に求められる基本的な援助技術や総合的かつ包括的な援助方法等の事例を挙げることににより、学生に実践にもとづく理論と実際の相談援助への応用力を身につけさせる。
専門	相談援助演習Ⅱ	1	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験を生かし、社会福祉士に求められる基本的な援助技術や総合的かつ包括的な援助方法等の事例を挙げることににより、学生が実践にもとづく理論と実際の相談援助への応用を学ぶことになり、授業内容をより理解できるようになる。
専門	相談援助演習Ⅱ	1	岩井 賢哉	地域包括支援センターにおいて社会福祉士として勤務。 実務経験を生かし、社会福祉士に求められる基本的な援助技術や総合的かつ包括的な援助方法等の事例を挙げることににより、学生が実践にもとづく理論と実際の相談援助への応用を学ぶことになり、授業内容をより理解できるようになる。
専門	相談援助演習Ⅲ	1	伊藤 久美子	1999.4～2006.3 急性期病棟の医療ソーシャルワーカーとして勤務 2006.4～2011.5 地域包括支援センターの社会福祉士として勤務 2011.6～ 急性期・回復期の医療ソーシャルワーカーとして現在に至る 急性期・回復期・生活期と保健医療・福祉分野のそれぞれの時期のソーシャルワーカーとして勤務した経験がある。 特に、多職種連携やチームアプローチについては、その実務を活かし事例を元に考える機会を作り、学んでいけるようにしたい。
専門	相談援助演習Ⅲ	1	本田 ルミ子	1999.4～2006.3 急性期病棟の医療ソーシャルワーカーとして勤務 2006.4～2011.5 地域包括支援センターの社会福祉士として勤務 2011.6～ 急性期・回復期の医療ソーシャルワーカーとして現在に至る 急性期・回復期・生活期と保健医療・福祉分野のそれぞれの時期のソーシャルワーカーとして勤務した経験がある。 特に、多職種連携やチームアプローチについては、その実務を活かし事例を元に考える機会を作り、学んでいけるようにしたい。
専門	相談援助演習Ⅳ	1	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験がある。 実務経験を生かし、社会福祉士に求められる基本的な援助技術や総合的かつ包括的な援助方法等の事例を挙げることににより、学生が実践にもとづく理論と実際の相談援助への応用を学ぶことになり、授業内容をより理解できるようになる。
専門	相談援助演習Ⅳ	1	佐藤 昭洋	医療機関内の地域包括支援センターと通所リハビリテーション、児童館・学童保育、社会福祉協議会において、相談援助および地域支援に関わるソーシャルワーク実践に従事した経験を有する。 社会福祉士に求められる基本的な援助技術や総合的かつ包括的な援助方法等の事例を挙げることににより、学生に実践にもとづく理論と実際の相談援助への応用力を身につけさせる。

専門	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験がある。 実務経験を生かし、ソーシャルワーク実習に必要な実例等を挙げることで、ソーシャルワーク実習前に必要な内容がより理解できるようになる。
専門	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1	佐藤 昭洋	医療機関内の地域包括支援センターと通所リハビリテーション、児童館・学童保育、社会福祉協議会において、相談援助および地域支援に関わるソーシャルワーク実践に従事した経験を有する。 実務経験を生かし、ソーシャルワーク実習に必要な実例等を挙げることで、ソーシャルワーク実習前に必要な内容がより理解できるようになる。
専門	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験がある。 実務経験を生かし、ソーシャルワーク実習に必要な実例等を挙げることで、ソーシャルワーク実習前に必要な内容がより理解できるようになる。
専門	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1	佐藤 昭洋	医療機関内の地域包括支援センターと通所リハビリテーション、児童館・学童保育、社会福祉協議会において、相談援助および地域支援に関わるソーシャルワーク実践に従事した経験を有する。 実務経験を生かし、ソーシャルワーク実習に必要な実例等を挙げることで、ソーシャルワーク実習前に必要な内容がより理解できるようになる。
専門	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験がある。 実務経験を生かし、ソーシャルワーク実習後の振り返りや実習報告書の作成、実習報告会の準備等の指導をすることができる。
専門	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1	佐藤 昭洋	医療機関内の地域包括支援センターと通所リハビリテーション、児童館・学童保育、社会福祉協議会において、相談援助および地域支援に関わるソーシャルワーク実践に従事した経験を有する。 実務経験を生かし、ソーシャルワーク実習後の振り返りや実習報告書の作成、実習報告会の準備等の指導をすることができる。
専門	ソーシャルワーク実習	6	関 靖男	福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験がある。 実務経験を生かし、ソーシャルワーク実習をより充実した内容にすることができる。
専門	ソーシャルワーク実習	6	佐藤 昭洋	医療機関内の地域包括支援センターと通所リハビリテーション、児童館・学童保育、社会福祉協議会において、相談援助および地域支援に関わるソーシャルワーク実践に従事した経験を有する。 実務経験を生かし、ソーシャルワーク実習をより充実した内容にすることができる。
専門	現代の精神保健の課題と支援	4	志村 敬親	ソーシャルワーカーとして障害者に対する対人援助業務に従事（17年） 精神障害のある人への地域移行支援、居住支援、就労支援等の臨床経験を踏まえ、現代社会において精神保健をめぐって生じているさまざまな課題と、それに対する支援のあり方について教授する。
専門	精神保健福祉の原理	4	大橋 雅啓	民間児童養護施設4年、自治体の精神保健福祉行政の実務（児童相談所、保健所、総合病院精神科、精神保健福祉センター等）経験 精神障害者のニーズや現在の精神保健福祉サービスに精通しており精神保健福祉士の精神保健福祉士として求められる専門的知識・技術・価値について伝授することができる。
専門	精神保健福祉制度論	2	志村 敬親	ソーシャルワーカーとして障害者に対する対人援助業務に従事（17年） 精神障害のある人への地域移行支援、居住支援、就労支援等の臨床経験を踏まえ、精神障害のある人の生活を支える関連制度の概要やその特徴・限界を実践に即して教授し、本授業における制度理解および制度を活用した実践への理解を深める。
専門	精神障害リハビリテーション論	2	志村 敬親	ソーシャルワーカーとして障害者に対する対人援助業務に従事（17年） 精神障害のある人への地域移行支援、居住支援、就労支援等、チームアプローチに基づく精神障害リハビリテーションの実践経験を活かし、精神障害リハビリテーションの概要やその特徴、最新の動向、ならびにソーシャルワーク専門職に求められる役割や視点について教授することを通じて、学生の実践的理解と専門的思考力の涵養を図る。
専門	ソーシャルワークの理論と方法（専門）	4	大橋 雅啓	民間児童養護施設4年、自治体の精神保健福祉行政分野25年（児童相談所、保健所、総合病院精神科、精神保健福祉センター等）での稼働経験がある。 精神障害者のニーズや現在の精神保健福祉サービスに精通しており精神保健福祉士の精神保健福祉士として求められる専門的知識・技術・価値について伝授することができる。
専門	精神保健福祉援助演習Ⅰ	1	志村 敬親	ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）として障害者に対する対人援助業務に従事 精神保健福祉士としての対人援助における臨床経験を活かし、演習形式の授業を通じて、精神保健福祉士に求められる価値・知識・技術を具体的に提示し、学生の理解を深める。
専門	精神保健福祉援助演習Ⅰ	1	本田 智春	精神保健福祉士として、地域活動支援センター、福祉サービス事業所（就労継続支援B型・グループホーム）、行政等の実務経験あり。 精神保健福祉士としての対人援助経験を活かし、事例やグループワークを通じて、実践的な学びや理解につなげる。
専門	精神保健福祉援助演習Ⅱ	1	大橋 雅啓	民間児童養護施設4年、自治体の精神保健福祉行政部門25年（児童相談所、保健所、総合病院精神科、精神保健福祉センター等） 精神障害者のニーズや現在の精神保健福祉サービスに精通しており精神保健福祉士の精神保健福祉士として求められる専門的知識・技術・価値について伝授することができる。
専門	精神保健福祉援助演習Ⅱ	1	志村 敬親	ソーシャルワーカーとして精神保健福祉領域における対人援助業務に従事 相談支援事業所や地域活動支援センター等における実務経験を踏まえ、テキストの内容と実際の援助事例を関連づけながら授業を展開する。これにより、ソーシャルワークの視点から、精神保健福祉士が担う対人援助業務への理解を深める。
専門	精神保健福祉援助演習Ⅲ	1	大橋 雅啓	民間児童養護施設4年、自治体の精神保健福祉行政分野25年（児童相談所、保健所、総合病院精神科、精神保健福祉センター等） 精神障害者のニーズ、現在の精神保健福祉サービス等について精通している。
専門	精神保健福祉援助演習Ⅲ	1	志村 敬親	ソーシャルワーカーとして精神保健福祉領域における対人援助業務に従事 相談支援事業所や地域活動支援センター等における実務経験を踏まえ、テキストの内容と実際の援助事例を関連づけながら授業を展開する。これにより、ソーシャルワークの視点から、精神保健福祉士が担う対人援助業務への理解を深める。
専門	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	大橋 雅啓	民間児童養護施設4年、自治体の精神保健福祉行政部門25年（児童相談所、保健所、総合病院、精神保健福祉センター等） 精神障害者のニーズや精神保健福祉サービスに関する理解や支援について学ぶことが出来る。
専門	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	1	志村 敬親	精神障害がある人を対象とした相談支援、居住支援、地域移行支援の実務に携わるとともに、実習指導者として精神保健福祉士養成課程の実習生に対する指導を行ってきた。 実務経験は、精神障害がある人の支援実践の理解、実習目標の設定、実習課題の整理、実習場面の振り返りに活かされるとともに、実習指導者としての経験は、本授業における実習生への指導、評価、実習先との連携に直接的に関連している。
専門	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1	大橋 雅啓	民間児童養護施設4年、自治体の精神保健福祉行政分野25年（児童相談所、保健所、総合病院精神科、精神保健福祉センター等）の実務経験あり。 精神障害者のニーズや精神保健福祉サービスについて学ぶことが出来る。
専門	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	1	志村 敬親	精神障害がある人を対象とした相談支援、居住支援、地域移行支援の実務に携わるとともに、実習指導者として精神保健福祉士養成課程の実習生に対する指導を行ってきた。 実務経験は、精神障害がある人の支援実践の理解、実習目標の設定、実習課題の整理、実習場面の振り返りに活かされるとともに、実習指導者としての経験は、本授業における実習生への指導、評価、実習先との連携に直接的に関連している。
専門	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1	大橋 雅啓	民間児童養護施設4年、自治体の精神保健福祉行政分野25年（児童相談所、保健所、総合病院精神科、精神保健福祉センター等）の実務経験あり。 精神障害者のニーズや精神保健福祉サービスの現状についての分析や活用方法について学ぶことが可能。
専門	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	1	志村 敬親	ソーシャルワーカー（精神保健福祉士）として障害者に対する対人援助業務に従事 実務経験は、精神障害がある人の支援実践の理解、実習目標の設定、実習課題の整理、実習場面の振り返りに活かされるとともに、実習指導者としての経験は、本授業における実習生への指導、評価、実習先との連携に直接的に関連している。
専門	精神保健福祉援助実習	5	大橋 雅啓	民間児童養護施設4年、自治体の精神保健福祉行政分野25年（児童相談所、保健所、総合病院精神科、精神保健福祉センター等）で実務経験あり。 精神障害者のニーズや現在の精神保健福祉サービスに精通しており精神保健福祉士の精神保健福祉士として求められる専門的知識・技術・価値について伝授することができる。
専門	精神保健福祉援助実習	5	志村 敬親	精神障害がある人を対象とした相談支援、居住支援、地域移行支援の実務に携わるとともに、実習指導者として精神保健福祉士養成課程の実習生に対する指導を行ってきた。 実務経験は、精神障害がある人の支援実践の理解、実習目標の設定、実習課題の整理、実習場面の振り返りに活かされるとともに、実習指導者としての経験は、本授業における実習生への指導、評価、実習先との連携に直接的に関連している。
専門	スクールソーシャルワーク論	2	大橋 雅啓	・元東北スクールソーシャルワーク学会理事（5年間） ・学校ソーシャルワーク担当教員講習会 修了（H29） 日本ソーシャルワーク教育学校連盟主催 東北におけるスクールソーシャルワークの動向及び業務実務に関する授業を実施する。
専門	基礎ゼミⅡ	1	大橋 雅啓	心理職、ソーシャルワーカーとしての実務経験あり 現場での支援実践、多職種連携、キャリア形成の経験を踏まえ、資格制度の理解にとどまらず、専門職として働くことの意義や課題について具体的な事例を交えて指導する。また、個別面談においては、対人援助専門職としての面接技法およびキャリア支援の知見を活かし、学生の自己理解および進路形成を支援する。
専門	ゼミナールⅠ	2	関 靖男	各担当教員はそれぞれの専門領域での研究活動や援助支援活動に従事した経験を有している。 各教員の専門領域と学生の興味関心を合わせることで、臨床場面をイメージできる指導を行う。
専門	ゼミナールⅡ	2	志村 敬親	各担当教員はそれぞれの専門領域での研究活動や援助支援活動に従事した経験を有している。 各教員の専門領域と学生の興味関心を合わせることで、臨床場面をイメージできる指導を行う。
専門	総合福祉Ⅰ	2	関 靖男	関靖男 福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験がある。 実務経験を踏まえて社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験科目に関して関連性を持たせながら総合的に指導ができる。
専門	総合福祉Ⅱ	2	関 靖男	関靖男 福島県社会福祉協議会に41年間勤務する中で生活困窮者自立支援や災害支援、生活支援相談員（避難者支援）の指導等の実務経験がある。 実務経験を踏まえて社会福祉士及び精神保健福祉士国家試験科目に関して関連性を持たせながら総合的に指導ができる。
専門	専門職連携教育セミナー	2	関 靖男	福祉・医療の領域において、他職種と連携しながら相談業務に従事した経験がある 福祉・医療領域において支援に従事した経験を踏まえて、自分が目指す専門職や他職種の理解が深まるように授業を行う

令和8(2026)年度 こども学科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

教養/専門	講義名称	単位数	代表教員名	実務経験
教養	初年次教育	1	武田 文男	政府や自治体の人事担当責任者としての業務を経験 各組織における採用職員の新任研修業務の経験や、建学の精神、教育の理念、大学における学び等本学新入学生への初年次教育の授業に活かす
教養	会話演習	2	安田 いつ美	テレビ局アナウンサー ラジオパーソナリティ テレビやラジオの放送や司会で身に付けた人前で話す際のポイントや、対談、インタビューを通して得た対話スキルを指導する。
教養	情報機器操作Ⅰ	2	木谷 徳智	情報処理受託会社での勤務やOffice製品の講師経験を通じて、ハードウェアとソフトウェアに関する広範な知識を持っている 実務経験より基本的な操作の他に、実用的な手法や設定を指導できる
教養	情報機器操作Ⅱ	2	木谷 徳智	情報処理受託会社での勤務やOffice製品の講師経験を通じて、ハードウェアとソフトウェアに関する広範な知識を持っている 実務経験より基本的な操作の他に、実用的な手法や設定を指導できる
教養	生活教養Ⅰ	2	渡辺 雅子	学校法人福島学院 事務局総務人事課研修主任・研修主事を兼任(5年間)。 本学教職員へのビジネスマナー指導のスキルを生かし、マナー教育を実施します。
教養	生活教養Ⅱ	2	渡辺 雅子	学校法人福島学院 事務局総務人事課研修主任・研修主事を兼任(5年間)。 本学教職員へのビジネスマナー指導のスキルを生かし、マナー教育を実施します。
教養	音楽演習	2	佐藤 恵一	高校の音楽の授業で生徒の音楽大学への受験指導として楽典やソルフェージュの指導を行ってきた。 実務経験により、「音楽演習」の概要や目的を達成させることができると考える。
教養	文学演習	2	安田 いつ美	テレビ局アナウンサー ラジオパーソナリティ テレビやラジオの放送を通して身に付けた聞き取りやすい声で伝える技術、人を引き付ける読み聞かせのコツを指導する。
教養	日本国憲法	2	菅原 好秀	情報公開・個人情報保護審査会の審査会委員である。 情報公開・個人情報保護審査会の審査会委員の経験がある教員が、その経験を生かして、日本国憲法の基本的な人権の本質と役割について講義する。
教養	教養演習Ⅱ	1	菅田 清正	前職のテレビ放送局において報道制作の現場で20年間実務を経験した。その間に報道記者やドキュメンタリー番組などの制作ディレクターを担当し、多数番組を制作した。受賞歴も多数ある。 本職が報道制作の現場で培った動画制作の知識や経験そして技術を学生一人ひとりに丁寧に伝授し、動画制作の基礎知識を身に付けることが出来るように教授する。
教養	国際理解論	2	杉浦 広幸	国際協力事業団(現国際協力機構)専門家として、ケニヤ共和国で勤務(1997～2000) 日本の国際協力機関にて、開発途上国への政府開発援助(ODA)を実施する現場で勤務。
教養	体育実技	1	松山 善弘	「ダンスムーブメント」を日本女子体育大学で指導 「ダンスエクササイズ」を日本大学文理学部で指導 いずれも当該授業科目「ダンスエクササイズ」と内容が一致する。
教養	体育実技	1	宮崎 利勝	中学校、高等学校保健体育科教員 高等学校での体育実技内容を踏まえた実技授業の展開
教養	教育原理	2	嶋原 理	福島県公立学校教員として、34年間にわたり小学校教育に携わってきました。また、福島市教育委員会事務局職員として、学校訪問等の機会を通じ、幼稚園教育、小・中学校教育、特別支援教育についても指導助言を行ってきました。 教育現場での経験を活かし、教育の本質について具体的に示していきます。
専門	保育者論	2	鈴木 翔太	幼稚園教諭、認定こども園主幹保育教諭経験あり 現場実践から、保育者の専門性向上に資する関連
専門	保育原理	2	鈴木 翔太	幼稚園教諭、認定こども園主幹保育教諭経験あり 現場実践から、保育者の専門性向上に資する関連
専門	社会的養護Ⅰ	2	細川 梢	児童心理治療施設の保育士として勤務経験あり 施設保育士の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や保育者としての具体的支援方法を教授する。
専門	子ども家庭福祉	2	今 清孝	保育士(6年)、保育園園長(18年)、保育団体役員(18年)の勤務経験 実務経験から得た保育現場の知識を活用し、子ども家庭福祉に関わる法制度、ほいくの歴史、保育思想の変遷などを細かく解説した授業を展開する。
専門	教育行政	2	河内 ひろみ	福島市公立保育所・認定こども園において保育士・所長・園長の実務あり。 福島市児童福祉科にて実務あり。 保育・教育及び行政に關した内容をベースに、実体験や具体例を交えた講義内容。
専門	特別支援教育	2	鶴巻 正子	特別支援学校及び小学校特別支援学級担任として13年間の経験を有している。また、自治体の発達支援コーディネーターを1年、発達支援アドバイザーを11年間つとめている。 講義では支援が必要な乳幼児や児童生徒、保護者に対する発達支援を行ってきた経験をふまえ、個人情報に留意しながら、受講生に分かりやすい具体的な講義を行ってきたい。
専門	子どもの保健	2	渡邊 一代	保育学・こども学の教授経験 看護学・助産学の教授経験 周産期の臨床実務経験 当該授業は、乳幼児の心身の健康について学ぶ講義であり、左記の実務経験は有用である。
専門	子どもの食と栄養	2	佐藤 友美	病院において管理栄養士として勤務し、患者の年齢や疾患、栄養状態に応じた栄養管理および食事指導に携わってきた。また、小学校において学校栄養職員として勤務し、学校給食の献立作成、栄養管理、食物アレルギー対応、食育の推進など、子どもの食に関わる業務を担当してきた。 本授業「子どもの食と栄養」は、子どもの成長・発達に応じた栄養の理解と、保育現場における食支援の在り方を学ぶ科目である。病院管理栄養士および学校栄養職員としての実務経験を踏まえ、栄養管理、食物アレルギー対応、食育の実践など、現場に即した具体的な事例を取り入れながら講義を行う。
専門	幼児理解の理論と方法	2	佐藤 佑貴	2001年度より現在まで心理職として活動しています。 心理職の視点から
専門	保育・教育課程論	2	鈴木 久米男	福島県内公立学校において、教諭や教頭、校長を経験した。 学校現場での実務経験を生かして、保育所や幼稚園等における保育・教育活動の意義を理解させるとともに、指導案の作成能力を身につけさせる。
専門	教育方法及び技術	2	嶋原 理	福島県公立学校教員として、34年間にわたり小学校教育に携わってきました。また、福島市教育委員会事務局職員として、学校訪問等の機会を通じ、幼稚園教育、小・中学校教育、特別支援教育にいても指導助言を行ってきました。(嶋教員として実際に子どもと関わってきた経験を活かし、環境を通した教育の方法について、実践的に解説します。
専門	社会的養護Ⅱ	1	細川 梢	児童心理治療施設の保育士として勤務経験あり 施設保育士の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や保育者としての具体的支援方法を教授する。
専門	乳児保育Ⅰ	2	高村 弘子	福島市の公立保育施設にて、45年間保育に携わってきました。保育士としては、よりよい保育を目指し計画、実行、評価、改善を心掛け目の前にいるこどもたち(0歳～5歳児)と向き合ってきました。主任保育士としては保育所全体に目を向け、こどもはもちろんのこと、職員も保護者も楽しく通える保育所を目指し取り組んできました。園長としては、地域の方々とのつながり、小学校との連携に重きを置き、職員はもちろん保護者の方々と協力しながら風通しの良い保育環境を目指しました。行政の立場で保育施設と関わった際には、福島市全体の保育施設に目を向け、保育の質の向上を目指し、様々な困難な問題にも取り組んできました。特に、震災やコロナ禍の中では、こどもたちの命を守る保育現場の在り方について模索し続けてきました。こども園副園長として、幼児教育・保育サポーターとして、保育に関する様々な課題や問題の解決に向け取り組みました。また、支援を要する園児や保護者と関わることで、より深い学びにつながっていると感じています。 これまでに培ってきた経験をもとに、事例を取り上げながら、人間の一生にとって乳幼児期が重要な時期であること、またその時期のこどもたちに保育士として関わることもできる楽しさ、充実感を伝えることができます。保育文化を継承し、乳児保育の意義、目的と歴史的変遷及び役割等や、乳児保育の現状と課題につて理解できるようにします。 そして、今までの経験をもとに、若い職員に話すことの一つに、何事にも思いやりをもって関わり、思いやりをもった考え方をすることがあります。本学の精神「真心こそすべてのすべ」につながるころがあると感じております。特に乳児保育には、保護者も含め思いやりをもって接しなければならない場面が多々あります。大切な心構えなどを伝えていきたいと 思います。

専門	乳児保育Ⅱ	1	高村 弘子	福島市の公立保育施設にて、45年間保育に携わってきました。保育士としては、よりよい保育を目指し計画、実行、評価、改善を心掛け目の前にいるこどもたち(0歳～5歳児)と向き合ってきました。主任保育士としては保育所全体に目を向け、こどもはもちろんのこと、職員も保護者も楽しく通える保育所を目指し取り組んできました。園長としては、地域の方々とつながり、小学校との連携に重きを置き、職員はもちろん保護者の方々と協力しながら風通しの良い保育環境を目指しました。行政の立場で保育施設と関わった際には、福島市全体の保育施設に目を向け、保育の質の向上を目指し、様々な困難な問題にも取り組んできました。特に、震災やコロナ禍の中では、こどもたちの命を守る保育現場の在り方について模索し続けてきました。現在はこちらも園副園長として、幼児教育・保育サポーターとして、保育に関する様々な課題や問題の解決に向け取り組んでおります。また、支援を要する園児や保護者と関わることで、より深い学びにつながっていると感じております。 これまでに培ってきた経験をもとに、事例を取り上げながら、人間の一生にとって乳幼児期が重要な時期であること、またその時期のこどもたちに保育士として関わるができる楽しさ、充実感を伝えることができます。保育文化を継承し、乳児保育の意義、目的と歴史の変遷及び役割等や、乳児保育の現状と課題につて理解できるようにします。 そして、今までの経験をもとに、若い職員に話すことの一つに、何事にも思いやりをもって関わり、思いやりをもった考え方をすることがあります。本学の精神「真心こそすべてのすべて」につながる場所があると感じております。特に乳児保育には、保護者も含め思いやりをもって接しなければならない場面が多々あります。大切な心構えなどを伝えていきたいと思ひます。
専門	子どもの健康と安全	1	渡邊 一代	保育学・こども学の教授経験 看護学・助産学の教授経験 周産期の臨床実務経験 当該授業は、乳幼児の保健と健康について教授する内容であるため、左記の実務経験は有用である。
専門	障害児保育	2	北村 壽秋	小学校長としてユニバーサルデザインの視点を生かし、誰もがかけがえのない一人の人間として尊重される学校づくりに努めてきた。特別支援学級と通常学級の交流学習、特別支援学級児童への個に応じた指導法の研究、保護者への教育相談などを組織的計画的に実施してきた。就学にあたっては近隣の保育園、幼稚園、こども園との連携を図って進めてきた。また、幼稚園長を兼任した三年間、幼児の保育環境の整備を進めてきた。 特別支援教育の法制化から現場におけるもっとも大きな変化は、「特別支援教育は、障害のある子どもの支援にとどまるものではなく、すべての児童生徒の個のニーズに応えるものだ」という認識が広まったことである。現在、通常学級では障害の有無にかかわらず、学校生活に困難があるすべての児童生徒が特別な支援の対象となっている。学校現場で培った経験を活かし現場において子どもが「ともに育つ」意味と様々な障害特性と保育方法、保護者の育児支援、学校教育制度などについて具体的な事例を通して講義演習を進めていきたい。
専門	教育相談	2	佐藤 佑貴	2001年度より心理職として活動しています。 心理職としての支援のポイントを伝え、保育現場でできることを増やすサポートをします。
専門	子どもと人間関係	1	鈴木 智子	保育士・幼稚園教諭(25年)、及び管理職(副園長)の経験あり。 保育現場の経験から、人間関係形成の場としての就学前施設の果たす役割の重要性を経験を踏まえて伝えます。
専門	子どもと環境	1	杉浦 広幸	新潟県農業技術学院講師(1989～1996)。全国実務教育協会園芸療法士取得講座主席講師(2005～20012)。 新潟県農業技術学院(新潟県試験場動研究員と兼務)において、動植物や自然環境に関する講義担当。園芸療法士取得講座では、人と園芸や自然環境のかかわりに関する小冊を担当し、関係の学術論文6報発表。
専門	子どもと音楽表現	1	佐藤 恵一	高等学校の音楽教員として音楽(歌や器楽)を表現することを実践してきた。また、地域の合唱や吹奏楽の活動を通して自分を表現し伝えることを追求してきた。 「子どもと音楽表現」の授業では、保育士を目指す学生が音楽をどのように表現して幼児に伝えるかが主眼である。子どもの目線に立てて歌を表現していく保育士の立場として関連している。
専門	保育内容総論	2	鈴木 智子	保育士・幼稚園教諭(25年)および管理職(副園長)の現場経験あり。 保育現場の経験から保育の基本・指導の在り方、各領域の捉え方を理解し、総合的に指導することの重要性について伝えます。
専門	保育内容指導法 人間関係	2	鈴木 智子	保育士・幼稚園教諭(25年)および管理職(副園長)経験あり。 保育現場の経験から保育の基本・指導の在り方、各領域の捉え方を理解し、総合的に指導することの重要性について伝えます。
専門	保育内容指導法 環境	2	杉浦 広幸	新潟県農業技術学院講師(1989～1996)。全国実務教育協会園芸療法士取得講座主席講師(2005～20012)。 新潟県農業技術学院(新潟県試験場動研究員と兼務)において、動植物や自然環境に関する講義担当。園芸療法士取得講座では、人と園芸や自然環境のかかわりに関する小冊を担当し、関係の学術論文6報発表。
専門	幼稚園教育実習	5	鈴木 久米男	授業担当者は、それぞれ福島県の公立学校や福島市内の認定こども園等での勤務経験がある。 保育・学校現場での実務経験を生かして、保育所や幼稚園等における保育・教育活動の意義を理解させるとともに、現場で必要とされる資質・実践力を身につけさせる。
専門	保育・幼稚園教職実践演習	2	鈴木 久米男	担当教員は、それぞれ、福島県内の学校や認定こども園において、教育・保育活動を経験した。 学校現場での実務経験を生かして、保育所や幼稚園等における保育・教育活動の意義を理解させるとともに、現場で必要とされる資質・実践力を身につけさせる。
専門	保育実習指導Ⅰ	2	細川 梢	細川：児童心理治療施設の保育士として勤務経験あり 鈴木：幼稚園教諭、認定こども園主幹保育としての勤務経験あり 細川：施設保育士の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や保育者としての具体的支援方法を教授する。 鈴木：現場実践から、保育者の専門性に関する実践を教授する。
専門	保育実習Ⅰ	4	細川 梢	細川：児童心理治療施設の保育士として勤務経験あり 鈴木：幼稚園教諭、認定こども園主幹保育としての勤務経験あり 細川：施設保育士の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や保育者としての具体的支援方法を教授する。 鈴木：現場実践から、保育者の専門性に関する実践を教授する。
専門	保育実習指導Ⅱ	1	鈴木 翔太	幼稚園教諭・認定こども園主幹保育教諭 現場実践から、保育者の専門性向上に資する関連
専門	保育実習Ⅱ	2	鈴木 翔太	幼稚園教諭・認定こども園主幹保育 現場実践から、保育者の専門性向上に資する関連
専門	保育実習指導Ⅲ	1	細川 梢	児童心理治療施設の保育士として勤務経験あり 施設保育士の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や保育者としての具体的支援方法を教授する。
専門	保育実習Ⅲ	2	細川 梢	児童心理治療施設の保育士として勤務経験あり 施設保育士の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や保育者としての具体的支援方法を教授する。
専門	認定こども園基本実習	1	鈴木 翔太	幼稚園教諭、認定こども園主幹保育教諭 現場実践から、保育者の専門性向上に資する関連
専門	学童保育	2	鈴木 翔太	認定こども園主幹保育教諭、学童保育指導員 保育現場での経験から本科目の内容に関連づけて授業を展開する
専門	ピアノ演習Ⅰ	2	ミハウ ソフコヴィアク	ピアノコンサート活動 10歳でピアニストとしてデビューして以来、これまでにコンサートホール、野外ステージ(オープンエア)、音楽クラブ、教会、ホテルのラウンジ、テレビスタジオなど、さまざまな演奏環境で演奏活動を行ってきた。 演奏形態も多岐にわたり、ソロ演奏に加え、オーケストラとの共演、室内楽編成によるクラシック音楽、ジャズおよびポップスのバンド編成での演奏、さらに声楽家・歌手の伴奏など、幅広い実践経験を有している。これらの実務経験を通して培った演奏技術、アンサンブル能力、表現力、および実践的な音楽理解を、本授業における指導内容に直接反映させている。
専門	ピアノ演習Ⅰ	2	佐藤 恵一	高等学校の音楽授業でのピアノ伴奏の経験。 福島学院大学でのピアノ演習の2年間の授業実務経験。 実務経験の内容から、こども学科1年生のピアノ演習Ⅰの授業科目との関連性があると考える。
専門	ピアノ演習Ⅱ	2	ミハウ ソフコヴィアク	ピアノコンサート活動 10歳でピアニストとしてデビューして以来、これまでにコンサートホール、野外ステージ(オープンエア)、音楽クラブ、教会、ホテルのラウンジ、テレビスタジオなど、さまざまな演奏環境で演奏活動を行ってきた。 演奏形態も多岐にわたり、ソロ演奏に加え、オーケストラとの共演、室内楽編成によるクラシック音楽、ジャズおよびポップスのバンド編成での演奏、さらに声楽家・歌手の伴奏など、幅広い実践経験を有している。これらの実務経験を通して培った演奏技術、アンサンブル能力、表現力、および実践的な音楽理解を、本授業における指導内容に直接反映させている。
専門	保育と音楽Ⅰ	1	佐藤 恵一	本県高等学校の音楽教諭・教頭・校長として37年間勤務、その間、福島県教育センター長期研究員(音楽)や高等学校の教科指導員(音楽)として5年間の勤務経験がある。 「保育と音楽Ⅰ」では経験を生かした視点から音楽の表現指導が可能である。実際の保育現場での実践と関連させながら、学生一人一人の音楽の表現活動を指導することができる。また、今後の保育における音楽指導を見据えながら学生の主体的な音楽表現を後押しする。
専門	保育と音楽Ⅱ	1	佐藤 恵一	本県高等学校の音楽教諭・教頭・校長として37年間勤務、その間、福島県教育センター長期研究員(音楽)や高等学校の教科指導員(音楽)として5年間の勤務経験がある。 「保育と音楽Ⅱ」では経験を生かした視点から音楽の表現指導が可能である。実際の保育現場での実践と関連させながら、学生一人一人の音楽の表現活動を指導することができる。また、今後の保育における音楽指導を見据えながら学生の主体的な音楽表現を後押しする。

専門	保育と自然	1	杉浦 広幸	新潟県園芸試験場研究員(1989～1995)、新潟県山岳協会所属新潟山岳会(1995～2011)、福島登高会(2024～)、磐梯吾妻観光推進協議会高地トレーニング・トレッキング専門部会アドバイザー(2008～2010)、御幸山山開き実行委員会役員(2017～)、福島学院大学環境担当 当該授業では、農作物の栽培体験や園芸植物の扱いを伴うため、新潟県園芸試験場の職務と関連。また、里山など自然のエリアを観察するため、山岳会・山開き役員・磐梯…アドバイザーでの登山・野外活動の経験と関連。本学にて、自然環境に関する研究を実施し、論文28報発表表。
専門	園行事研究	1	鈴木 翔太	幼稚園教諭、認定こども園主幹保育 保育現場の教員として経験をふまえ、行事の考え方、実際の動きなどを示す。また現代の保育事情について、現場の声を聴取して伝達する。
専門	社会調査法演習	1	茨木 瞬	専門社会調査士の資格を持ち、フィールドワークの経験がある。 卒論・レポート等に必要な社会調査法の手法や集計・分析方法について指導する。
専門	保育の統計学	1	鈴木 久米男	福島県内公立学校の教諭、教頭、校長の経験がある。 学校での経験を踏まえ、子どもの実態をとらえるためのデータ収集と分析の在り方を学修していく。
専門	保育施設管理論	2	今 清孝	保育士(6年)、保育園園長(18年)、保育団体役員(18年)の勤務経験 実務経験から得た保育現場の知識を活用し、保育施設の園舎設備・備品の管理を始め、消耗品、医薬品、園庭整備、予算管理まで、幅広く細かく解説した授業を展開します。
専門	地域福祉論	2	高橋 雄二	介護施設勤務15年の経験があります 介護施設勤務経験を活かして学生に地域福祉の意義と現状を伝える
専門	臨床心理学	2	佐藤 佑貴	2001年度から現在まで心理職として活動をしています。 心理職としての経験をともに、臨床心理学的視点について身に付けられるよう体系的な講義を実施します。
専門	心理査定法	1	小野 舟瑛	精神科病院・大学病院で心理職として、心理検査やカウンセリング、集団プログラムを実施した経験を有しています。 精神科病院・大学病院で実施していた心理アセスメントをおこなう際の理論やアプローチを当該授業科目で紹介します。
専門	カウンセリング概論	2	小野 舟瑛	精神科病院・大学病院で心理職として、心理検査やカウンセリング、集団プログラムを実施した経験を有しています。 精神科病院・大学病院で実施していた心理カウンセリングをおこなう際の理論やアプローチを当該授業科目で紹介し
専門	カウンセリング演習	1	小野 舟瑛	精神科病院・大学病院で心理職として、心理検査やカウンセリング、集団プログラムを実施した経験を有しています。 精神科病院・大学病院で実施していた心理カウンセリングをおこなう際の理論やアプローチを当該授業科目で紹介しま
専門	ゼミナールⅠ	2	鈴木 久米男	福島県内の公立学校の教諭や教頭、校長を経験した。 学校現場での実務経験を生かして、保育所や幼稚園等の現状把握による課題の抽出及び課題解決の手立てを卒論としてまとめるための支援を行う。
専門	ゼミナールⅠ	2	渡邊 一代	保育学・こども学の大学における教授経験 看護学・助産学の大学と専門学校における教授経験 小児医療・周産期の臨床経験 当該講義は、小児保健に関心がある学生が子どもの健康課題について、ガイドラインや先行研究を通して学びを深める講義である。そのため、左記の実務経験は学生の学修支援に有用である。
専門	ゼミナールⅠ	2	佐藤 佑貴	2001年より現在まで心理職者として従事しています。 心理職者としての経験から、臨床心理学的視点から研究を進めるためのポイントを提供します。
専門	ゼミナールⅠ	2	細川 梢	児童心理治療施設の保育士として勤務経験あり 施設保育士の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や保育者としての具体的支援方法を教授する。
専門	ゼミナールⅠ	2	二谷 京子	県内公立小学校で教諭、教頭、校長として37年間勤務、内、兼務の公立園長として2年勤務。福島県教育委員会や二本松市教育委員会において、幼児教育担当指導主事として通算8年4か月の勤務経験があります。現在も本学認定こども園で園長を兼務しています。 教育全般や幼児教育についての知識や指導経験が豊富です。本ゼミナールでは、経験を活かした幅広い視点からの指導助言が可能です。先行研究等の分析や実際の保育・教育現場での実践と関連付けながら、一人一人が課題を探り、課題解決や論文作成への見通しをもって主体的に取り組むことができるような学びを創出します。
専門	ゼミナールⅠ	2	木谷 徳智	情報処理受託会社での勤務やOffice製品の講師経験を通じて、ハードウェアとソフトウェアに関する広範な知識を持ってICT機器情報を活用に関して、情報を提供できサポート出来る
専門	ゼミナールⅠ	2	鈴木 翔太	幼稚園教諭、認定こども園主幹保育教諭経験あり 現場実践から、保育者の専門性向上に資する内容を研究法に関連づけて進める
専門	ゼミナールⅠ	2	佐藤 恵一	本県高等学校の教諭・教頭・校長として37年間勤務、その間、福島県教育センター長期研究員(音楽)や高等学校の教科指導員(音楽)として5年間の勤務経験がある。 本ゼミナールでは経験を生かした視点から助言指導が可能である。前年度の卒業論文指導を基礎として実際の保育現場での実践を関連させながら、学生一人一人の論文を整理し指導することができる。また、今後の保育における音楽指導を見据えて、主体的な卒業論文の完成を後押しする。
専門	ゼミナールⅡ	2	鈴木 久米男	福島県内の公立学校の教諭や教頭、校長を経験した。 学校現場での実務経験を生かして、保育所や幼稚園等の現状把握による課題の抽出及び課題解決の手立てを卒論としてまとめるための支援を行う。
専門	ゼミナールⅡ	2	渡邊 一代	保育学・こども学の教授経験 看護学・助産学の教授経験 周産期の臨床実務経験
専門	ゼミナールⅡ	2	佐藤 佑貴	2001年度から現在まで心理職として活動しています。 心理職の経験から臨床心理学的研究を実践する視点について支援します。
専門	ゼミナールⅡ	2	細川 梢	児童心理治療施設の保育士として勤務経験あり 施設保育士の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や保育者としての具体的支援方法を教授する。
専門	ゼミナールⅡ	2	二谷 京子	県内公立小学校で教諭、教頭、校長として37年間勤務、内、兼務の公立園長として2年勤務。福島県教育委員会や二本松市教育委員会において、幼児教育担当指導主事として通算8年4か月の勤務経験があります。現在も本学認定こども園で園長を兼務しています。 教育全般や幼児教育についての知識、指導経験が豊富です。本ゼミナールでは、経験を活かした幅広い視点からの指導助言が可能です。前年度での学びを基礎としてよりテーマに迫った先行研究等の分析や実際の保育・教育現場での実践と関連付けながら、一人一人が論文を整理し、今後の教育・保育を見据えながら、主体的に卒業論文を仕上げられる。
専門	ゼミナールⅡ	2	佐藤 恵一	本県高等学校の教諭・教頭・校長として37年間勤務、その間、福島県教育センター長期研究員(音楽)や高等学校の教科指導員(音楽)として5年間の勤務経験がある。 本ゼミナールでは経験を生かした視点から助言指導が可能である。前年度の卒業論文指導を基礎として実際の保育現場での実践を関連させながら、学生一人一人の論文を整理し指導することができる。また、今後の保育における音楽指導を見据えて、主体的な卒業論文の完成を後押しする。
専門	ゼミナールⅡ	2	鈴木 翔太	幼稚園教諭、認定こども園主幹保育教諭経験あり 現場実践から、保育者の専門性向上に資する内容を研究法に関連づけて進める
専門	ゼミナールⅡ	2	木谷 徳智	情報処理受託会社での勤務やOffice製品の講師経験を通じて、ハードウェアとソフトウェアに関する広範な知識を持ってICT機器情報を活用に関して、情報を提供できサポート出来る

令和8(2026)年度 地域マネジメント学科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

教養/専門	講義名称	単位数	代表教員名	実務経験
教養	基礎ゼミナール	2	鈴木 忠雄	民間研究所におけるソフトウェア開発 民間研究所でソフト開発を行った経験をもとに、汎用的な論理的思考方法を、学生の研究課題に適用することを通して授業を展開する。
教養	福島と復興	2	田川 寛之	警野、警察業務各般に精通するとともに、震災直後の双葉署長、復興業務に携わる多くの作業員が居住したいわき中央署長、震災と復興を支える警察活動を統括した警備部長等の実務経験を有する。 警察行政の実務経験にもとづく知見をもとに、震災・原発事故によって生じた地域社会の諸問題についての視点、また、復興の営みによって生じている地域社会の諸問題についての視点をそれぞれ取り入れた授業内容を構成し、披露する。
教養	復興と女性	2	武田 文男	武田・内閣府、消防庁、国土庁、また自治体の幹部として、防災・復興対策業務を経験 木村：総務省地方財政審議会委員(常勤)として、防災・復興対策を含め地方自治体の行財政全般の政策決定プロセスに関わった。 防災・復興対策業務の経験を「復興と女性」の授業に活かす
教養	地域連携演習Ⅰ	2	木村 和彦	VI構築から印刷、WEB、システム、映像や写真、広告などの領域を扱うマルチクリエイター。省庁や県などの官公庁・大手企業の案件から地方の中小企業の案件まで、多様な実務経験あり。この経験を活かし、ユーザーの行動を意識した実践に近い授業を展開する。 実務経験に記載のある領域の設計で求められるスキルです。 また、デザイン思考でまともな上げた考えを具現化した際の様々な領域に精通しており、経験を元にアドバイスします。
教養	被災地フィールドワーク	2	黒石 いずみ	設計事務所での業務や行政による歴史資源調査の経験がある フィールドワークの実務経験や研究経験が多いので指導に還元できる
教養	データリテラシー	2	董 彦文	多数の企業に対して、データ解析システムと解析結果を提供した経験がある。 実の企業データを学習例として授業に組み入れる。
教養	エクスターンシップ・リテラシー	2	木谷 德智	安田信二：新聞社に勤務して、編集、広告、事業、社員採用等の業務に従事した。 鈴木修子：企業研修講師として、ビジネスマナーやコミュニケーション・階層別研修等人材育成に従事。 木谷德智：情報処理受託会社での勤務やOffice製品の講師経験を通じて、ハードウェアとソフトウェアに関する広範な知識を持っている。 安田信二：新聞社における取材や記事の執筆、紙面制作、広告掲載、社員採用等の業務経験を生かして、学生の就職に向けたキャリア形成を支援する。 鈴木修子：エクスターンシップ参加において必要なマナーや心構えを習得していただく。 木谷德智：実務経験で知れた業界・職種等の情報とICTの進歩について習得できる
教養	統計学入門	2	鈴木 忠雄	民間研究所にてソフト開発を行った経験 民間研究所で物性シミュレーションソフト開発を行った経験をもとに、統計的思考プロセスの解説を授業で行う。
教養	ICTリテラシー	2	木谷 德智	情報処理受託会社やOffice製品を教える講師を経験し、ハード・ソフトに広範囲の知識をリテラシー教育として提供する。 実業務で資料作成に使用して経験済み。また、経験を生かした指導をすることが出来る。
教養	メディアリテラシー	2	伊藤 裕顕	担当教員は、約18年(1983年～2001年)にわたり、民放地方局で報道記者を務め、主に選挙、政局、災害取材を手がけた。 道記者経験に基づき、「表現の自由」「知る権利」「ジャーナリズム」等の理論と実践を組み合わせ、講義を行う。インターネットの普及により「誰でも情報発信」可能な言論空間が創出された。その価値は評価できるものの、情報発信者には重い責任が伴い、謙虚な姿勢も求められる。こうした新時代における情報発信のあり方について、記者時代の経験を事例に用い、論考する。
教養	英語Ⅰ	2	月輪 まり子	・英国の教育機関において3年間教員を勤める ・企業、民間、個人向けに英会話を15年以上教える 英語で授業を行った経験と幅広い年齢層・英語レベルに指導してきた経験を活かし、実践的な英語と実体験に基づくコミュニケーションのコツを教える。
教養	英語Ⅱ	2	月輪 まり子	・英国の教育機関において3年間教員を勤める。 ・企業、民間、個人向けに英会話を15年以上教える。 英語で授業を行った経験と幅広い年齢層・英語レベルに指導してきた経験を活かし、実践的な英語と実体験に基づくコミュニケーションのコツを伝える。
教養	マネジメントのための数学	2	鈴木 忠雄	民間研究所において物性シミュレーションソフト開発経験あり 民間研究所での物性シミュレーションソフト開発を行った経験をもとに、数理的思考プロセスの解説を授業で行う。
教養	地域福祉論	2	日下 輝美	社会福祉法人東田町社会福祉協議会において福祉活動専門員として従事 当該授業科目は、地域福祉の理論と実践、事例研究という授業構成の観点から社会福祉協議会での実務経験の内容と合致します
教養	韓国語	2	李 智恵	語学スクール、行政機関、放送大学などで韓国語講師 行政機関などで翻訳や通訳 長年にわたり韓国語講師として、初級から上級まで、小学生からシニア世代まで幅広い年齢層・レベルの韓国語学習者を教えてきました。15回の授業を通じて簡単な韓国語を話し、読み・書きができるようにやさしく教えます。
教養	英語で学ぶ世界の暮らし	2	黒石 いずみ	設計事務所での業務や海外の大学との交流があり、国際的な経験が豊富 海外のメディアや英語での暮らしの状況をわかりやすく伝えることができる
教養	体育実技	1	松山 善弘	「ダンスムーブメント」を日本女子体育大学で指導 「ダンスエクササイズ」を日本大学文理学部で指導 いずれも当該授業科目「ダンスエクササイズ」と内容が一致する。
教養	体育実技	1	宮崎 利勝	中学校、高等学校保健体育科教員 高等学校での体育実技内容を踏まえた実技授業の展開
専門	マネジメント入門	2	武田 文男	武田：自治体の幹部職員として地域マネジメントの実務を経験 武田：地域経営・地域政策マネジメントの責任者として業務に従事した経験をマネジメント入門の授業に活かす
専門	経済統計	2	茨木 瞬	民間政策シンクタンクやデータサイエンスに関わる教育や研修事業を行う民間企業の勤務経験を持つ 実戦的なデータ分析の手法について指導する。
専門	財政学	2	木村 陽子	総務省地方財政審議会委員(常勤)として、国と地方の財政的役割分担の決定と地方行財政全般、および政策決定プロセスに携わった。 実務経験を踏まえ、課題の明確化。説得力ある論理構成と表現力、政策決定のプロセス等を学生に伝えることができる。、
専門	経営組織論	2	遠藤 哲哉	自治体行政及び自治研修センター、及び地域経営における実務経験がある。 行政経営や公共・非営利経営を含む地域経営における制度の運用の実態や事実を見る目を養い、実践知を深める。
専門	プログラミング基礎	2	鈴木 忠雄	民間研究所におけるソフトウェア開発 民間研究所での物性シミュレーションソフト開発を行った経験をもとに、実際に現場で使えるコーディング手法の解説を授業で展開する。
専門	行政法・地方自治法	2	武田 文男	政府及び自治体の幹部職員として行政法・地方自治法の運営に関する業務を経験 行政法・地方自治法の運営業務の経験を「行政法・地方自治法」の授業に活かす
専門	労働法	2	矢戸 宏行	社会保険労務士として36年間の中で様々なクライアントの労務相談・助言を行ってきた。 中小企業における労務管理を現場で直接指導する中で、様々な場面でのように法律がかかわっていくのか、実務に即した生(なま)の授業ができる。
専門	地方財政学	2	木村 陽子	総務省地方財政審議会委員(常勤)として、9年間、国と地方の財政的役割分担の決定、地方行財政全般、政策決プロセスに携わった。 実務経験を踏まえ、課題の明確化し、いろいろな選択肢のある中、地方自治体が優先した予算をもとに政策を実行していくか、世界的な特徴は何かなどを学生に伝える。
専門	被災地学習	2	武田 文男	内閣府、消防庁、国土庁、また自治体の幹部職員として災害対策、被災地の復興等の業務を経験 災害対策、被災地の復興等の業務経験を東日本大震災や原子力発電所事故の被災地である福島の復興など「被災地学習」の授業に活かす
専門	企業・行政・エクスターンシップ	2	遠藤 哲哉	担当する遠藤は、自治体行政及び自治研修センター、及び地域経営における実務経験がある。(遠藤) 担当する木谷は、情報処理受託会社での勤務やOffice製品の講師経験を通じて、ハードウェアとソフトウェアに関する広範な知識を持っている。 行政経営や公共・非営利経営を含む地域経営における制度の運用の実態や事実を見る目を養い、実践知を深める。(遠藤) 実務経験で知れた業界・職種等の情報とICTの進歩について教授する。(木谷)
専門	地域連携演習Ⅱ	2	木村 和彦	VI構築から印刷、WEB、システム、映像や写真、広告などの領域を扱うマルチクリエイター。省庁や県などの官公庁・大手企業の案件から地方の中小企業の案件まで、多様な実務経験あり。この経験を活かし、ユーザーの行動を意識した実践に近い授業を展開する。 Adobe Illustratorは、VI構築から印刷、WEB、映像の領域で使用されます。また、印刷とデジタルコンテンツの両方に精通しています。 Adobe Photoshopは、映像や写真の領域で使用されます。設計から撮影・加工等にも精通しています。
専門	東北地域論	2	田川 寛之	朴相賢：JA福島中央会に現在所属しており、農業経済学の観点から県内農業の諸活動について調査分析を行い、県農政の知見拡大に努め 担当授業回において、所属先組織の農業の取り組みおよびJAにかかわる実務についての知見を披露する。
専門	メディア危機管理	2	安田 信二	福島県内の新聞社に勤務して、編集、広告、事業などの各分野の業務に従事した。 福島県内の新聞社に38年間、勤務して、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所事故などのさまざまな災害、事件・事故、政治、行政、経済、社会、スポーツ、文化などに関する報道に携わった。それらの実例を具体的に取り上げ、授業を展開する。
専門	復興とメディア	2	安田 信二	福島県内の新聞社に38年間、勤務した。東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故が発生する前と、発生後に、発電所が立地する福島県浜通り地方に勤務した。 新聞社の編集、広告、事業等の各種業務に携わった経験を生かして、被災地の過去と現在や、メディアの現場を知る1人として、被災地の復興に果たすメディアの役割や課題に関する授業を実例に沿って展開する。
専門	地域における安全安心	2	菅野 年幸	現場において警察業務全般を指揮統括する警察署長を3か所経験するとともに、東日本大震災の対応とその後の復興支援業務に携わった。 国民の安全安心に直接関与する警察組織の組織から各部門毎の活動等について、その知見をもとに授業を構成するとともに、東日本大震災での警察活動や復興支援の現状等を披露する。
専門	地域データ分析	2	茨木 瞬	民間政策シンクタンクやデータサイエンスに関わる教育や研修事業を行う民間企業の勤務経験を持つ。 実戦的なデータ分析の手法について指導する。
専門	企業マネジメント論	2	柳井 雅也	現在、人材派遣、警備、サービス、福祉・介護事業等を行う会社にて社会取締役をしている。そのため、会社経営や意思決定に関わることも多 実務を通じて、マネジメントの方法や、企業の営業報告書を基に意思決定を行うことも多い。そのため、経営の安定性、成長性、課題を発見することも教授できる。
専門	企業とコンプライアンス	2	駒田 晋一	2003年から福島市内で弁護士をしている。 地元企業から法律相談を受け、受任している。その中にはコンプライアンスに関する案件も多く含まれている。報道、裁判例、経験を踏まえ、具体的な企業を通じてコンプライアンスの理解を深める。

令和8(2026)年度 保育学科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

教養/専門	講義名称	単位数	代表教員名	実務経験
教養	初年次教育	1	武田 文男	政府や自治体の人事担当責任者としての業務を経験。 各組織における採用職員の新任研修業務の経験、建学の精神、教育の理念、大学における学び等、本学新入学生への初年次教育の授業に活かします。
教養	会話演習	1	安田 いづ美	テレビ局アナウンサー ラジオパーソナリティ テレビやラジオの放送や司会で身に付けた人前で話す際のポイントや、対談、インタビューを通して得た対話スキルを指導する。
教養	文学演習(子どもと文学)	1	安田 いづ美	テレビ局アナウンサー ラジオパーソナリティ テレビやラジオの放送を通して身に付けた聞き取りやすい声で伝える技術、人を引き付ける読み聞かせのコツを指導します。
教養	情報機器操作	2	木谷 徳智	情報処理受託会社での勤務やOffice製品の講師経験を通じて、ハードウェアとソフトウェアに関する広範な知識を持っている。 実務経験より基本的な操作の他に、実用的な手法や設定を指導できる。
教養	データサイエンス	2	篠田 伸夫	福島大学共生システム理工学類で情報科学系の講義、演習を担当していました。
教養	生活教養Ⅰ	2	渡辺 雅子	プログラミング・マルチメディアシステム、情報社会、情報科学の基礎関連授業。 学校法人福島学院 事務局総務人事課研修主任・研修主事を兼任(5年間)。
教養	生活教養Ⅱ	2	渡辺 雅子	学校法人福島学院 事務局総務人事課研修主任・研修主事を兼任(5年間)。 本校教職員へのビジネスマナー指導のスキルを生かし、マナー教育を実施します。
教養	体育実技	1	松山 善弘	「ダンスムーブメント」を日本女子体育大学で指導。 「ダンスエクササイズ」を日本大学文理学部で指導。 いずれも当該授業科目「ダンスエクササイズ」と内容が一致します。
専門	教育原理	2	二谷 京子	福島県内公立小学校で教諭、教頭、校長として37年間勤務、内兼務の公立幼稚園長として2年間勤務。 また、福島県教育委員会、二本松市教育委員会において幼児教育担当指導主事として通算8年4か月の勤務経験があります。現在も本学認定こども園で園長として業務をしています。
専門	保育原理	2	今 清孝	長年の教育現場経験があり、教育全般や幼児教育についての知識や指導経験が豊富。教育原理の授業に当たり、これまでの教育が形作られてきた歩みや教育の在り方について、豊富な事例を取り上げながら理論と実経験を結びつけて、実感のある学びを創出します。 保育士(6年)、保育園園長(18年)、保育園団役員(18年)の勤務経験があります。 保育現場経験から得た保育実践の知識を活用し、保育の歴史、保育思想の変遷などを細かく解説した授業を展開します。
専門	保育者論	2	二谷 京子	福島県内公立小学校で教諭、教頭、校長として37年間勤務、内兼務の公立幼稚園長として2年間勤務。 また、福島県教育委員会、二本松市教育委員会において幼児教育担当指導主事として通算8年4か月の勤務経験があります。現在も本学認定こども園で園長として業務をしています。
専門	教育行政	2	鈴木 久米男	長年の教育現場経験があり、教育全般や幼児教育についての知識や指導経験が豊富。保育者の役割や専門性について学ぶ保育者論の授業に当たり、現場の教育者としての豊富な経験や本学認定こども園での保育の一端に触れながら、具体的に保育者像をイメージできるよう実感のある学びを創出します。
専門	社会福祉	2	高橋 雄二	福島県内の公立学校、及び教育センターでの勤務経験があります。 教育現場での実務経験を生かして、保育所や幼稚園等に関する教育制度の概要を理解するとともに、保育現場で客観的な根拠を踏まえて判断できる資質等を身に付けていきます。
専門	子ども家庭福祉	2	今 清孝	介護施設勤務15年経験があります。 介護施設で学んだ社会福祉についての知識と技術を教授します。
専門	社会的養護Ⅰ	2	細川 栞	保育士(6年)、保育園園長(18年)、保育園団役員(18年)の勤務経験があります。 実務経験から得た保育現場の知識を活用し、子ども家庭福祉に関わる法制度、保育の歴史、保育思想の変遷などを細かく解説した授業を展開します。
専門	子ども家庭支援の心理学	2	小野 舟瑛	児童心理治療施設の保育士として勤務経験があります。 施設保育士の経験から得た児童福祉施設の役割や保育者としての具体的な支援方法を教授します。
専門	臨床心理学	1	小野 舟瑛	精神科病院・大学病院で心理職として、心理検査やカウンセリング、集団プログラムを実施した経験を持っています。 精神科病院・大学病院で心理職として勤務していた際、各年代に対して異なるアプローチを展開しており、その内容を当該授業科目で紹介しています。
専門	特別支援教育	2	柳沼 哲	精神科病院・大学病院で実施していた心理カウンセリングを行う際の理論やアプローチを当該授業科目で紹介しています。 福島県立の特別支援学校教員 福島大学附属特別支援学校教員 福島県養護教育センター指導主事 福島県教育庁東北教育事務所指導主事
専門	子どもの保健	2	渡邊 一代	特別支援学校の教員等36年間、主に知的障害、肢体不自由の特別支援学校で児童生徒のアセスメントや学習活動の工夫を実践してきました。また、特別支援教育センターでは幼児児童生徒の教育相談や研修を担当。教育事務所では、地域の幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校を訪問し、特別な支援が必要な幼児児童生徒への指導・支援について相談、助言を行いました。これらを踏まえて、特別支援教育について具体的な事例を交えて講義を生かしていきます。
専門	子どもの食と栄養	2	佐藤 友美	保育学・こども学の教授経験、看護学・助産学の教授経験、周産期の臨床実務経験があります。 当該授業は、乳幼児の健康と保健に関わる内容であり、左記の実務経験は有用です。
専門	保育・教育課程論	2	鈴木 久米男	病院において管理栄養士として勤務し、患者の年齢や疾患、栄養状態に応じた栄養管理、および食事指導に携わってきました。また、小学校において学校栄養職員として勤務し、学校給食の献立作成、栄養管理、食物アレルギー対応、食育の推進など、子どもの食に関わる業務を担当してきました。 本授業「子どもの食と栄養」は、子どもの成長・発達に応じた栄養の理解と、保育現場における食支援の在り方を学ぶ科目です。病院管理栄養士、および学校栄養職員としての実務経験を踏まえ、栄養管理、食物アレルギー対応、食育の実践など、現場に即した具体的な事例を取り入れながら講義を行います。
専門	幼児と人間関係	1	鈴木 智子	福島県内公立学校において、教諭や教頭、校長を経験。 学校現場での実務経験を生かして、保育所や幼稚園等における保育・教育活動の意義を理解するとともに、指導案の作成能力を身に付けていきます。
専門	幼児と環境	1	杉浦 広幸	保育士・幼稚園教諭(25年)、及び管理職(副園長)の経験があります。 保育現場の経験から、人間関係形成の場としての就学施設施の果たす役割の重要性を経験を踏まえて伝えます。
専門	幼児と表現(造形)	1	柳沼 宏寿	新潟県農業技術学院講師(1989～1990)。 全国実務教育協会園芸療法士取得講座(2005～20012)。 新潟県農業技術学院(新潟県試験場助研究員と兼務)において、動植物や自然環境に関する講義担当。園芸療法士取得講座では、人と園芸や自然環境のかかわりに関する小冊を担当し、関係の学術論文6報発表。 ひまわり幼児教育専門学校非常勤講師として 「指導法 造形表現」「造形表現」を担当 (平成29年～令和6年8年間) 新潟大学附属幼稚園主催の幼児教育研修会 「保育のとびら」研修講師 (令和元年～令和3年3回) 長岡市公立保育園保育事業研究会研修会講師 (令和3年) ひまわり幼児教育専門学校で担当した「指導法 造形表現」は、本科目と同内容です。 新潟大学附属幼稚園、及び長岡市公立保育園保育事業研究会での研修会講師は、保育の領域「表現」の趣旨に沿った題材開発についてのものであり、本科目の内容と合致します。
専門	幼児と表現(音楽)	1	山崎 英明	・声楽家、オペラ歌手、音楽教育者としての活動 (10年以上) ・音楽教室講師(5年以上) ・保育士試験(実技試験)採点委員(2年) これまでの教育活動と研究活動に基づいて、保育者に求められる知識と音楽技能を教授していきます。
専門	保育内容指導法 人間関係	1	鈴木 智子	保育士・幼稚園教諭(25年)、及び管理職(副園長)の経験があります。 保育現場の経験から保育の基本・指導の在り方、各領域の捉え方を理解し、総合的に指導することの重要性について伝えます。
専門	保育内容指導法 環境	1	杉浦 広幸	新潟県農業技術学院講師(1989～1990)。 全国実務教育協会園芸療法士取得講座主席講師(2005～20012)。 新潟県農業技術学院(新潟県試験場助研究員と兼務)において、動植物や自然環境に関する講義担当。園芸療法士取得講座では、人と園芸や自然環境のかかわりに関する小冊を担当し、関係の学術論文6報発表。 ひまわり幼児教育専門学校非常勤講師として 「指導法 造形表現」「造形表現」を担当 (平成29年～令和6年8年間) 新潟大学附属幼稚園主催の幼児教育研修会 「保育のとびら」研修講師 (令和元年～令和3年3回) 長岡市公立保育園保育事業研究会研修会講師 (令和3年) ひまわり幼児教育専門学校で担当した「指導法 造形表現」は、本科目と同内容です。 新潟大学附属幼稚園、及び長岡市公立保育園保育事業研究会での研修会講師は、保育の領域「表現」の趣旨に沿った題材開発についてのものであり、本科目の内容と合致します。
専門	保育内容指導法 表現	1	柳沼 宏寿	ひまわり幼児教育専門学校非常勤講師として 「指導法 造形表現」「造形表現」を担当 (平成29年～令和6年8年間) 新潟大学附属幼稚園主催の幼児教育研修会 「保育のとびら」研修講師 (令和元年～令和3年3回) 長岡市公立保育園保育事業研究会研修会講師 (令和3年) ひまわり幼児教育専門学校で担当した「指導法 造形表現」は、本科目と同内容です。 新潟大学附属幼稚園、及び長岡市公立保育園保育事業研究会での研修会講師は、保育の領域「表現」の趣旨に沿った題材開発についてのものであり、本科目の内容と合致します。
専門	乳児保育Ⅰ	2	松山 恵子	私の実務経験は保育士の資格を有し、福島市の公立保育所において、保育士、主任保育士、所長、幼保連携型認定こども園副園長として45年間、保育に携わりました。その間、福島市役所において、保育指導係長として保育所や認定こども園の監査や巡回指導に携わったほか、幼児教育・保育サポーターとして保育士の相談・支援にも携わるなど、あらゆる角度から保育に関わってきました。 保育現場での経験を活かし、乳児の姿や保育の様子など保育現場での事例を示し、乳児保育の魅力を感じとれるようにしながら、乳児保育の意義・目的と役割等や、乳児保育の現状と課題、発達を踏まえた保育の内容等について、専門的知識を修得できるように教授します。

専門	乳児保育Ⅱ	1	松山 恵子	私の実務経験は保育士の資格を有し、福島市の公立保育所において、保育士、主任保育士、所長、幼保連携型認定こども園副園長として45年間、保育に携わりました。その間、福島市役所において、保育指導係長として保育所や認定こども園の監査や巡回指導に携わったほか、幼児教育・保育サポーターとして保育士の相談・支援にも携わるなど、あらゆる角度から保育に関わってきました。 保育現場での経験を活かし、乳児の姿や保育の様子など保育現場での事例を示し、乳児保育の魅力を感じとれるようにしながら、乳児保育の意義・目的と役割等や、乳児保育の現状と課題、発達を踏まえた保育の内容等について、専門的知識を修得できるように教授します。
専門	子どもの健康と安全	1	渡邊 一代	保育学・こども学の教授経験、看護学・助産学の教授経験、周産期の臨床実務経験があります。 当該授業は、乳幼児の健康と保健を教授する内容であり、左記の実務経験は有用です。
専門	障害児保育	2	北村 壽秋	小学校長としてユニバーサルデザインの視点を生かし、誰もがかけがえのない一人の人間として尊重される学校づくりに努めてきました。特別支援学級と通常学級の交流学習、特別支援学級児童への個別指導法の研究、保護者への教育相談などを組織的・計画的に実施してきました。就学にあたっては近隣の保育園、幼稚園、こども園との連携を図って進めてきました。また、幼稚園長を兼務した3年間、幼児の保育環境の整備を進めてきました。 特別支援教育の法制化から現場におけるもっとも大きな変化は、「特別支援教育は、障害のある子どもの支援にとどまるものではなく、すべての児童生徒の個のニーズに応えるものだ」という認識が広まったことです。現在、通常学級では障害の有無にかかわらず、学校生活に困難があるすべての児童生徒が特別な支援の対象となっています。学校現場で培った経験を活かし現場において子どもが「もとに育つ」意味と様々な障害特性と保育方法、保護者の育児支援、学校教育制度などについて具体的な事例を通して講義演習を進めていきます。
専門	社会的養護Ⅱ	1	細川 梢	児童心理治療施設の保育士として勤務経験があります。 施設保育士の経験を踏まえ、児童福祉施設の役割や保育者としての具体的な支援方法を教授します。
専門	教育方法及び技術	2	嶋原 理	福島県公立学校教員として、34年間にわたり小学校教育に携わってきました。また、福島市教育委員会事務局職員として、学校訪問等の機会を通じ、幼稚園教育、小・中学校教育、特別支援教育についても指導助言を行ってきました。(嶋原 理) 教員として実際に子どもと関わってきた経験を活かし、環境を通した教育の方法について、実践的に解説します。(嶋原 理)
専門	教育相談の理論及び方法	2	小野 舟瑛	精神科病院・大学病院で心理職として、心理検査やカウンセリング、集団プログラムを実施した経験を有しています。 精神科病院・大学病院で実施していた子どもへの対応をおこなう際の理論やアプローチを当該授業科目で紹介します。
専門	教育実習	5	今 清孝	保育士(6年間)、保育園園長(18年間)、保育団体役員(18年間)の勤務経験があります。 実務経験から得た保育実践の知識と技術を活用し、細かく解説した実習指導を展開します。
専門	保育・教職実践演習(幼稚園)	2	嶋原 理	福島県公立学校教員として、34年間にわたり小学校教育に携わってきました。また、福島市教育委員会事務局職員として、学校訪問等の機会を通じ、幼稚園教育、小・中学校教育、特別支援教育についても指導助言を行ってきました。 教育現場での経験を活かし、保育者として必要な事項について具体的に示していきます。
専門	保育実習指導Ⅰ	2	今 清孝	■保育士(6年間)、保育園園長(18年間)、保育団体役員(18年間)の勤務経験があります。(今 清孝) ■介護施設の勤務経験が15年間あります。(高橋雄二) ■臨床心理士(9年間)、公認心理師(3年間)の勤務経験があります。(小野舟瑛) ■実務経験から得た保育実践の知識を活用し、細かく解説した実習指導を展開します。(今 清孝) ■介護施設での実務経験を生かして、実習指導を実施していきます。(高橋雄二) ■実務経験から得た知識を活用して、実習指導を行います。(小野舟瑛)
専門	保育実習Ⅰ	4	今 清孝	保育士(6年間)、保育園園長(18年間)の経験があります。 実務経験から得た保育実践の知識と技術を活用し、細かく解説した実習指導を展開します。
専門	保育実習指導Ⅱ	1	鈴木 智子	保育士、幼稚園教諭(25年)及び管理職(副園長)の経験があります。 長年の保育現場の経験から保育所の役割や機能、子ども観や関わり方の視点を中心に具体的な実践に結び付けて指導します。
専門	保育実習Ⅱ	2	鈴木 智子	保育士・幼稚園教諭(25年間)及び管理職(副園長)の経験があります。 保育所での実習の受け入れ等の経験もあり、保育の理論と実践等を総合的に学ぶ機会に繋がります。
専門	保育実習指導Ⅲ	1	高橋 雄二	介護施設での勤務経験が15年間あります。 介護施設勤務経験を生かして、実習指導を実施していきます。
専門	保育実習Ⅲ	2	高橋 雄二	介護施設での勤務経験が15年間あります。 介護施設での実務経験を生かして、実習指導を実施していきます。
専門	ピアノ演習Ⅰ	2	シバ ソファグイア	ピアノコンサート活動 10歳でピアニストとしてデビューして以来、これまでにコンサートホール、野外ステージ(オープンエア)、音楽クラブ、教会、ホテルのラウンジ、テレビスタジオなど、さまざまな演奏環境で演奏活動を行ってきました。 演奏形態も多岐にわたり、ソロ演奏に加え、オーケストラとの共演、室内楽編成によるクラシック音楽、ジャズ及びポップスのバンド編成での演奏、さらに声楽家・歌手の伴奏など、幅広い実践経験を有しています。これらの実務経験を通して培った演奏技術、アンサンブル能力、表現力、及び実践的な音楽理解を、本授業における指導内容に直接反映させていただきます。
専門	ピアノ演習Ⅰ	2	山崎 英明	・音楽教室講師(5年以上) ・保育士試験(実技試験)採点委員(2年) これまでの教育活動と研究活動に基づいて、保育者に求められる知識と音楽技能を教授いたします。
専門	ピアノ演習Ⅱ	1	山崎 英明	・音楽教室講師(5年以上) ・保育士試験(実技試験)採点委員(2年) これまでの教育活動と研究活動に基づいて、保育者に求められる知識と音楽技能を教授いたします。
専門	ピアノ演習Ⅱ	1	シバ ソファグイア	ピアノコンサート活動 10歳でピアニストとしてデビューして以来、これまでにコンサートホール、野外ステージ(オープンエア)、音楽クラブ、教会、ホテルのラウンジ、テレビスタジオなど、さまざまな演奏環境で演奏活動を行ってきました。 演奏形態も多岐にわたり、ソロ演奏に加え、オーケストラとの共演、室内楽編成によるクラシック音楽、ジャズ、及びポップスのバンド編成での演奏、さらに声楽家・歌手の伴奏など、幅広い実践経験を有しています。これらの実務経験を通して培った演奏技術、アンサンブル能力、表現力、及び実践的な音楽理解を、本授業における指導内容に直接反映させていただきます。
専門	保育内容研究	2	柳沼 宏寿	ひまわり幼児教育専門学院非常勤講師として「指導法 造形表現」「造形表現」を担当 (平成29年～令和6年・8年間) 新潟大学附属幼稚園主催の幼児教育研修会「保育のとびら」研修講師 (令和元年～令和3年・3回) 長岡市公立保育園保育事業研究会研修会講師 (令和3年) ひまわり幼児教育専門学校で担当した「指導法 造形表現」は、本科目と同一内容です。 新潟大学附属幼稚園、及び長岡市公立保育園保育事業研究会での研修会講師は、保育の領域「表現」の趣旨に沿った題材開発についてのものであり、本科目の内容と合致します。
専門	保育内容研究	2	鈴木 智子	保育士・幼稚園教諭(25年間)の経験があります。 保育現場での児童文化財を生かした保育現場での取り組み等を「人形劇」において実践します。
専門	保育内容研究	2	安田 いつ美	テレビ局アナウンサー ラジオパーソナリティ アナウンサーの経験から得た人前で話をするポイント、聞き取りやすい声で伝える技術、人を引き付ける読み聞かせのコツを指導します。
専門	特別研究Ⅰ	1	杉浦 広幸	新潟県園芸試験場研究員(1989～1996) ケニア共和国ジョモケニヤツ農工大学(1997～2000) 全国大学実務教育協会園芸療法士取得講座主席講師(2005～2012) 新潟県園芸試験場研究員では園芸の研究員・技術学院講師として園芸について研究・講義を担当。ケニアでは園芸専門家として勤務し、講義・卒論研究も担当。園芸療法士取得講座では、主たる園芸の講師を担当。
専門	特別研究Ⅱ	1	杉浦 広幸	新潟県園芸試験場研究員(1989～1996) ケニア共和国ジョモケニヤツ農工大学(1997～2000) 全国大学実務教育協会園芸療法士取得講座主席講師(2005～2012) 新潟県園芸試験場研究員では園芸の研究員・技術学院講師として園芸について研究・講義を担当。ケニアでは園芸専門家として勤務し、講義・卒論研究も担当。園芸療法士取得講座では、主たる園芸の講師を担当。
専門	特別研究Ⅱ	1	高橋 雄二	介護施設勤務15年があります。 介護施設での支援技術を活かし、自立支援に基づいた具体的な支援方法を教授します。

令和8(2026)年度 食物栄養学科 実務経験のある教員等による授業科目の一覧表

教養/専門	講義名称	単位数	代表教員名	実務経験
教養	初年次教育	1	武田 文男	政府や自治体の人事担当責任者としての業務を経験 各組織における採用職員の新任研修業務の経験を、建学の精神、教育の理念、大学における学び等本学新入学生への初年次教育の授業に活かす
教養	文章表現Ⅰ	2	安田 信二	福島県内の新聞社に38年間、勤務して、編集や広告などの業務に携わった。 新聞社の編集や広告の取材、原稿の執筆、校閲などの各業務に携わった経験を生かして、文章表現の実例を具体的に取り上げた授業を展開する。
教養	文章表現Ⅱ	2	安田 信二	福島県内の新聞社に38年間、勤務して、編集や広告などの業務に携わった。 新聞社の編集や広告の取材、原稿の執筆、校閲などの各業務に携わった経験を生かして、文章表現の実例を具体的に取り上げた授業を展開する。
教養	情報機器操作Ⅰ	2	木谷 徳智	情報処理受託会社での勤務やOffice製品の講師経験を通じて、ハードウェアとソフトウェアに関する広範な知識を持っている 実務経験より基本的な操作の他に、実用的な手法や設定を指導できる
教養	情報機器操作Ⅱ	2	木谷 徳智	情報処理受託会社での勤務やOffice製品の講師経験を通じて、ハードウェアとソフトウェアに関する広範な知識を持っている 実務経験より基本的な操作の他に、実用的な手法や設定を指導できる
教養	生活教養	2	渡辺 雅子	学校法人福島学院 事務局総務人事課研修主任・研修主事を兼任(5年間)。 本学教職員へのビジネスマナー指導のスキルを生かし、マナー教育を実施します。
教養	テレビ報道に見る現代理解	2	菅田 清正	前職のテレビ放送局において報道制作の現場で20年間勤務した。報道記者や番組制作ディレクターを担当し、ニュース報道番組やドキュメンタリー番組を多数制作した。受賞歴多数あり。 本科目は社会で問題となっている事例を取り上げて、学生が問題の本質や問題点を自ら考え発表する授業である。そのため本職はニュース現場で培った経験や知識を元に、事例の社会性や課題解決の取り組み等をテレビ報道の視点から解説し教授する。
教養	映像制作演習Ⅰ	2	菅田 清正	前職のテレビ放送局において報道制作の現場で20年間勤務した。その間、報道記者や番組制作ディレクターを担当し、ニュース報道番組やドキュメンタリー番組を多数制作した。受賞歴も多数あり。 本職が報道制作の現場で培った知識や経験そして技術を学生一人ひとりに丁寧に伝授し、学生が動画制作の基礎知識を身に付けられる事ができるように教授する。
教養	映像制作演習Ⅱ	2	菅田 清正	前職のテレビ放送局において報道制作の現場で20年間勤務した。その間、報道記者や番組制作ディレクターを担当し、ニュース報道番組やドキュメンタリー番組を多数制作した。受賞歴も多数あり。 本職が報道制作の現場で培った動画制作の知識や経験そして技術を学生一人ひとりに丁寧に伝授し、学生が動画制作の基礎知識を身に付けられる事ができるように教授する。
教養	体育実技	1	宮崎 利勝	中学校、高等学校保健体育科教員 高等学校での体育実技内容を踏まえた実技授業の展開
教養	体育実技	1	松山 善弘	「ダンスムーブメント」を日本女子体育大学で指導 「ダンスエクササイズ」を日本大学文理学部で指導 いずれも当該授業科目「ダンスエクササイズ」と内容が一致する。
専門	食生活論	2	沼崎 裕子	病院で管理栄養士として勤務 管理栄養士として勤務経験を活かして、栄養士業務に必要な知識を習得できるよう解説
専門	社会福祉概論	2	高橋 雄二	介護施設勤務15年の経験があります 介護施設での勤務経験をいかして社会福祉に関する知識を学生に伝える
専門	解剖生理学	2	八木沼 洋行	医学部医学科教員として人体解剖学の講義と実習を指導(35年) 看護学部等の非常勤講師として解剖生理学の講義と実習を担当(25年) 非常勤検診医として診療活動に従事(10年) このような経験を元に解剖生理学の講義内容を構成する。
専門	運動生理学	2	杉浦 弘一	長年にわたり、大学生を対象にバスケットボールのコーチとして指導を行ってきている。(所属大学、東北大学選抜、福島県国体チームなど) 加えて、大学授業をはじめ、小学生、一般成人等を対象とした運動実技の指導も実施してきている。 競技スポーツ、生涯スポーツに関わらず、スポーツの指導においては、「運動生理学」の知識のみならず「解剖学」「スポーツ医学」「トレーニング科学」「スポーツ栄養学」「スポーツ心理学」「コーチ学」などの知見を駆使しなければならない。これまでの様々なレベル・カテゴリーへの指導を通じて得られた知見もふまえて、「運動・スポーツ」の分野から「栄養」の専門家に求めることなどを授業に織り交ぜながら展開する。
専門	生化学Ⅰ	2	池田 信也	食品廃棄物の処理に関する研究を行った際、微生物の遺伝学的な分類、遺伝子の構造、新規酵素などについて知見を得た。 細胞の構造や各器官の働き、生体内での消化の仕組みや酵素の働きなどについて教授できる。また、基本的な遺伝の仕組みや遺伝子の構造などについて教授できる。
専門	生化学Ⅱ	2	池田 信也	食品廃棄物の処理に関する研究を行った際、微生物の遺伝学的な分類、遺伝子の構造、新規酵素などについて知見を得た。 細胞の構造や各器官の働き、生体内での消化の仕組みや酵素の働きなどについて教授できる。また、基本的な遺伝の仕組みや遺伝子の構造などについて教授できる。
専門	生化学実験	1	池田 信也	食品関連の研究に従事していた際、公定法に基づく化学分析を行った経験がある。 器具の使用方法や実験の原理、結果の確認や注意点などを詳細に教授することができる。
専門	食品学総論	2	池田 信也	食品成分の分析や検査を行っていた実務経験がある。また、食品中の機能性成分等について史研究、指導を行った経験がある。清酒や味噌などの審査会(鑑評会)に参加し、官能評価について実務経験がある食品中の食品成分について、詳細に教授できる。また、官能検査のノウハウについて詳細に教授できる。
専門	食品学総論実験	1	池田 信也	公設試験研究機関において、食品の試験研究を行った。また、同時期、食品の栄養成分についての化学分析による受託試験を行っていた。 食品成分の分析について、詳細に教授できる。
専門	食品学各論	2	高澤 まき子	前任の大学では食品・調理にかかわる科目を担当し管理栄養士を養成した経歴がある。退職後、現在においても非常勤講師として食品学にかかわる講義を担当している。 実務経験を活かし栄養士養成課程における食品学各論の講義を担当させていただく。
専門	食品学各論実験	1	高澤 まき子	前任の大学では食品・調理にかかわる科目を担当し管理栄養士を養成してきている。退職後は非常勤講師として食品にかかわる科目を担当している。 これまでの実務経験を活かし栄養士養成課程の食品学各論実験を担当させていただく。
専門	食品加工学実習	1	池田 信也	公設試験研究機関に勤務中、加工食品(麺、味噌など)の試作を行うとともに、成分の分析等を行った経験がある。また、加工食品の官能検査を行い、評価を行った経験がある。 加工食品の製造方法について、詳細に教授できる。
専門	食品衛生学	2	池田 信也	公設試験研究機関での勤務中、食品の微生物分析の受託、食品加工中の殺菌等に関する技術指導及び試験研究を行った。 食品中の微生物や病原菌について教授できる。企業の現場で行われている衛生管理などについて教授できる。
専門	食品衛生学実験	1	池田 信也	公設試験研究機関の勤務中、食品中の微生物試験の受託、食品加工中の殺菌等に関する指導及び試験研究を行った。 食品中の微生物の実験について、詳細に教授できる。食器の衛生試験について、実務経験に基づく、実験の指導、基準などについて教授できる。
専門	健康科学	4	池田 信也	食品化学及び食品衛生、加工食品に関する研究を述べ15年間行っていた。また、3年間、県消費生活センター(当時の名称)の消費生活に関する相談員を兼務(食品衛生関連、JIS規格、JAS規格、知的財産権担当)していた。 食品に関する知識を、法律だけでなく製造業側からの視点で教えることができる。また、消費者にとって必要な知識を広範にわたって教授する。
専門	栄養学総論	2	田村 佳奈美	長年に渡り病院勤務の他、地域での健康・栄養教室を開催している 経験を活かし、栄養学の基礎知識を授業で教授したい

専門	栄養学各論	2	紺野 広美	総合病院に勤務し、栄養管理、栄養指導を主に担当した。 将来栄養士として活躍する皆さんにとって、ライフステージごとの特徴的な栄養ケア、マネジメントの解説をしたい。
専門	栄養学各論実習	1	沼崎 裕子	病院で管理栄養士として勤務 病院勤務の経験を活かし、ライフスタイルに合わせた、栄養ケア・マネジメントについて解説する。
専門	臨床栄養学	2	紺野 広美	総合病院に勤務し、栄養サポートチームの専任として栄養管理を行い、栄養指導は入院・外来に継続して行った。 将来、栄養士として活躍する皆さんにとって大切な各病態の基礎知識を解説していきます。
専門	臨床栄養学Ⅱ	2	紺野 広美	総合病院で40年勤務し栄養管理の専任を務めた。 入院・外来患者の栄養指導を行った。 将来、栄養士として活躍する皆さんにとって、疾患別の食事療法について理解を深めることができるように解説する。
専門	臨床栄養学実習	1	田村 佳奈美	長年病院に勤務し、疾患別献立作成等に従事していた 経験を活かし、疾患ごとの献立展開のコツを教授する
専門	栄養指導論	4	田村 佳奈美	病院やクリニックで現在も栄養指導業務に従事している。 栄養指導の事例等を授業でも教授する
専門	栄養指導論実習	2	田村 佳奈美	病院やクリニックで栄養指導業務経験あり。現在もクリニックで栄養指導業務に従事。 経験を授業に活かし、事例などを交えて、実践的な栄養指導の方法やアセスメント、コミュニケーション等、教授したい。
専門	公衆栄養学	2	紺野 広美	40年総合病院に勤務し、医師、多職種と共に健康講座を開催した。検診では特定保健指導を務めた。 公衆栄養の主目的は、健康の維持増進と疾病の一次予防である。この目的達成のために行う公衆栄養活動の現状を学ぶ。
専門	給食管理	2	沼崎 裕子	病院で管理栄養士として勤務 給食業務を行うために必要な各管理について、運営のための手段や方法を解説する。
専門	給食管理実習Ⅰ	2	沼崎 裕子	管理栄養士として病院で勤務 給食施設勤務経験を活かして、給食管理業務に必要な知識、技術を教授する。
専門	給食管理実習Ⅱ	1	沼崎 裕子	病院で管理栄養士として勤務。 将来栄養士として活躍する皆さんにとって大切な給食管理について解説する。
専門	給食管理実習Ⅲ	1	沼崎 裕子	病院に管理栄養士として勤務 医療・福祉・介護・学校教育・事業所などの特定給食施設での校外実習に向けて、栄養士業務で必要とされる知識や技術について解説する。
専門	特別研究	2	菅田 清正	前職のテレビ放送局において報道制作の現場で年間勤務した。その間、報道記者、番組ディレクターを担当し、ニュース報道番組やドキュメンタリー番組を多数制作した。受賞歴も多数あり。 本科目は地域連携・貢献活動の一環として、地域の特産物をテーマにその魅力を映像制作で紹介する。その際、映像制作のノウハウを企画の段階から撮影編集までこれまでの経験を生かして学生に教授する。
専門	特別研究	2	安田 信二	福島県内の新聞社に38年間、勤務して、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故をはじめとする多くの災害を取材して、新聞の編集や発行に携わった。また、防災に関係する各種会議や業務を取材するとともに、福島市の防災会議等の諮問機関の委員を務めた。福島学院大学短期大学部に勤務後も災害に関する研究を続けて、ゼミナールにおける指導や論文の執筆に努めた。 災害時の避難所における食事提供等の被災現場を取材した経験を授業に生かす。取材の際に協力を得た東日本大震災と原子力災害の被災者をはじめとして、行政機関や各種団体、ボランティアに授業への支援をお願いして、授業の内容を充実させる。
専門	特別研究	2	田村 佳奈美	病院等で献立作成、月刊誌等でレシピ連載 献立作成、レシピ作成の経験を授業に活かします
専門	特別研究	2	沼崎 裕子	病院で管理栄養士として勤務 管理栄養士として勤務経験を活かして、霊山大石地区の地域特産物を用いたレシピ開発を行う
専門	特別研究	2	紺野 広美	総合病院に勤務し、小児病棟において食育を実施。 地域特有の食材や伝統的な調理を学び、食育や献立で活かせる知識・技術を学ぶ。
専門	特別研究Ⅱ	2	菅田 清正	前職のテレビ放送局において報道制作の現場で20年間勤務した。その間、報道記者や番組制作ディレクターを担当し、ニュース報道番組やドキュメンタリー番組を多数制作した。また受賞歴も多数あり。 本職が報道制作の現場で培った動画制作の知識や経験そして技術を学生一人ひとりに丁寧に伝授し、動画制作の基礎知識を身に付ける事ができるように教授する。
専門	特別研究Ⅱ	2	安田 信二	福島県内の新聞社に38年間、勤務して、東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故をはじめとする多くの災害を取材して、新聞の編集や発行に携わった。また、防災に関係する各種会議や業務を取材するとともに、福島市の防災会議等の諮問機関の委員を務めた。福島学院大学短期大学部に勤務後も災害に関する研究を続けて、ゼミナールにおける指導や論文の執筆に努めた。 災害時の避難所における食事提供等の被災現場を取材した経験を授業に生かす。取材の際に協力を得た東日本大震災と原子力災害の被災者をはじめとして、行政機関や各種団体、ボランティアに授業への支援をお願いして、授業の内容を充実させる。
専門	特別研究Ⅱ	2	田村 佳奈美	病院等で献立作成、月刊誌等でレシピ連載 献立作成、レシピ作成の経験を授業に活かします
専門	特別研究Ⅱ	2	沼崎 裕子	病院で管理栄養士として勤務 管理栄養士として勤務経験を活かして、霊山大石地区の地域特産物を用いたレシピ開発を行う
専門	特別研究Ⅱ	2	紺野 広美	総合病院に勤務し、小児病棟において食育を実施。 地域特有の食材や伝統的な調理を学び、食育や献立で活かせる知識・技術を学ぶ。